

平成 2 6 年 度  
事 業 報 告 書

自 平成 2 6 年 4 月 1 日

至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

# 目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	3
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	4
3. 会議記録.....	5
4. 委員会.....	6
1) 委員会の所管事項.....	6
2) 委員会委員.....	6
3) 委員会・部会 会議実績.....	8
5. 自動車教育推進協議会.....	9
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	11
1) 機材提供活動.....	11
2) 教員支援活動.....	13
3) 協賛支援活動.....	14
4) 交流促進活動.....	14
2. 調査研究事業.....	16
1) 調査活動.....	16
2) 教材作成活動.....	18
3. 研修事業.....	20
1) 財団研修活動.....	20
2) 講師派遣活動.....	21
4. 普及啓発事業.....	22
1) 普及啓発活動.....	22
2) 広域普及啓発活動.....	24

〔IV〕 支援活動

- 1. 自動車技術関連イベントへの支援…………… 27
- 2. 研究会及び研究大会への支援…………… 27

〔V〕 組織運営

- 1. 理事・監事・評議員の異動…………… 28
- 2. 委員会・部会の効率的な運営…………… 28
- 3. 財務・経理の状況…………… 28

〔VI〕 庶務事項

- 1. 事務局体制…………… 29
- 2. 賛助会費・寄附金の状況…………… 29

※ 添付資料

- 【資料1】平成26年度講師派遣実績…………… 30
- 【資料2】平成26年度教材贈呈式開催状況…………… 39

## 〔I〕平成26年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、平成26年度も事業活動に取り組んだ。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に提供教材メニューの充実を図った。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上を目的とした支援活動にも取り組み、指導員の派遣や指導教材の提供を適宜実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、引き続き「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を重ね、調査報告書や広報誌の特集記事に反映させ教育関係者へ展開した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会の開催や、関係団体からの専門講師の学校派遣を増やすなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

### 1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業では、北海道、関東、北陸、中国の14都道県294校を対象に、自動車技術教育用教材提供の公募を行った。応募した87校を対象に、審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、87校に教材の提供を行った。これで、平成3年からの提供校累計は1,528校となった。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上支援の一環として、提供教材の取扱指導（23校）、DVD教材の提供（11校）、及び技術系の講師派遣（24件）を実施した。

更に、自動車教育推進協議会と連携し、対象14都道県全てにおいて教材贈呈式と教育懇談会を開催し、高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

### 2. 調査研究事業

調査研究事業では海外調査を2回、国内調査を2回実施した。海外においては、東京五輪開催に向けた交通インフラ整備の先進事例を探るべく、イギリスとカナダの交通事情調査を実施した。また、国内においては都市における交通対策としての官民共同のパークアンドライドの取り組みや、高校生のバイク通学与交通安全教育の実態について、今後の財団事業の参考にすべく多面的な調査研究を行った。

この調査結果は、財団の事業報告紙である『JAEF REPORT』で報告するとともに、広報誌『Traffi-Cation（トラフィックेशन）』の特集記事や海外交通事情として記事化し、広く高等学校への展開を行なった。

### 3. 研修事業

研修事業では、JAEF研修会（財団主催の研修会）を栃木、東京、三重、大阪の4都府県で合計5回開催した結果、160名の高校教諭が受講し、参加者から大変高い評価を得た。

また、講師派遣活動（地域主催研修会への支援）においては、全国の高等学校を対象に広域公募活動を行った結果、大変多くの申し込みがあり、講師派遣件数は前年度を上回る243件に達した。また受講した教職員と生徒の合計は92,725名となり、講師派遣の件数、受講者数共に過去最多となった。

### 4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、全国の高等学校（約5,900校）を対象とした広報誌『Traffi-Cation』を3回発行し、高等学校における自動車教育に対する理解促進と財団活動に対する認知向上に努めた。また同誌の高校教諭に対する個別提供の拡大を進め、同誌のさらなる普及拡大に努めた。

さらに、広域普及啓発活動として、ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等の多様なメディア展開を図り、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。特に、財団ホームページやパンフレット類については、事業展開に合わせて適宜更新を行うなど、タイムリーな情報発信を心掛けた。

### 5. 組織運営について

平成26年度の財団事業は、第6回理事会（平成26年3月13日開催）にて承認された平成26年事業計画及び平成26年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

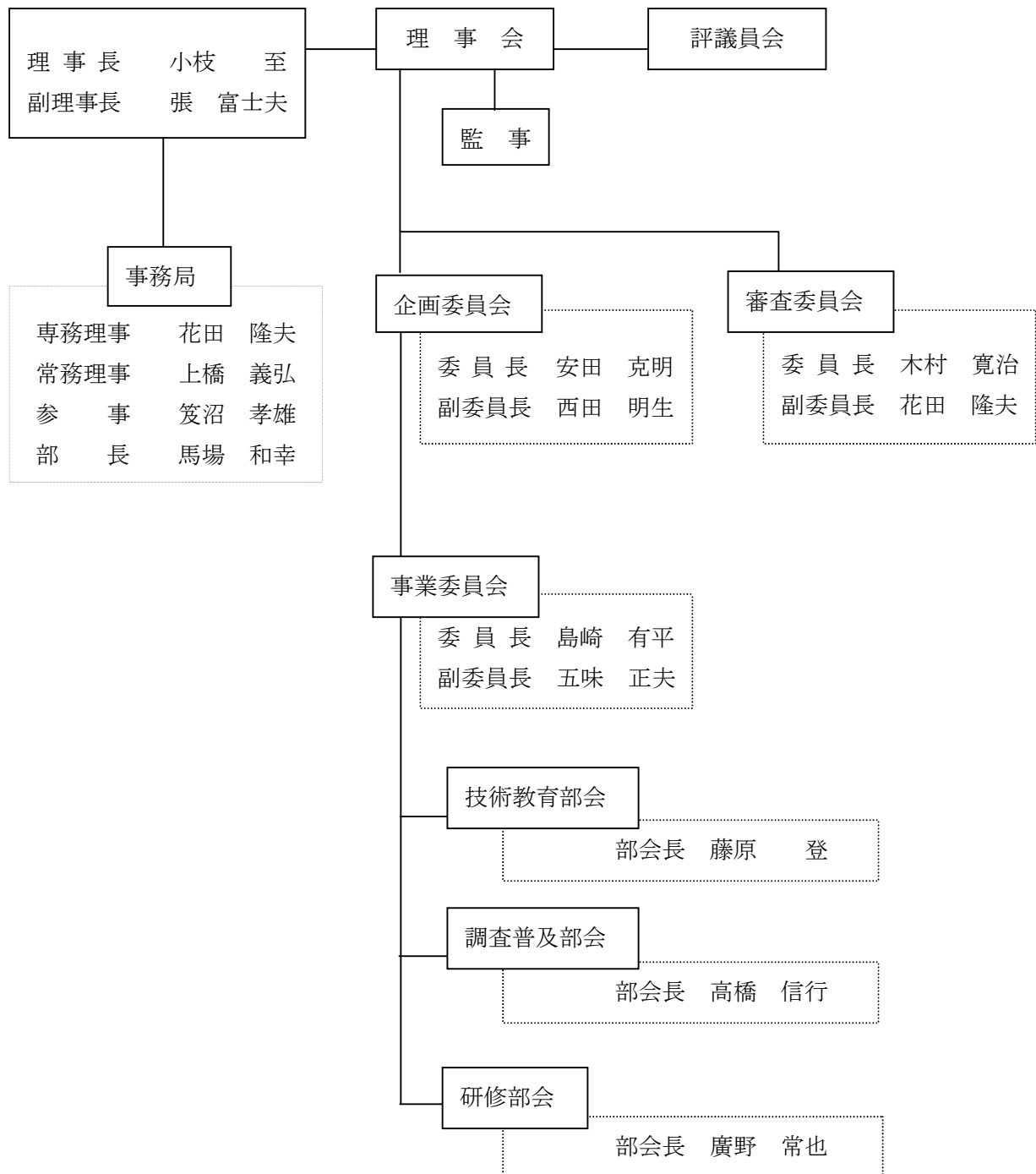
収支に関しては、収入（基本財産の運用収入、関係団体からの賛助会費、寄附金収入等）が予算通りであった一方で、支出面では、運営の効率化と適正な費用管理に努めほぼ予算通りとなったため、最終的な収支全体も予算通り若干の黒字となった。

## 〔Ⅱ〕 組織

### 1. 機構

平成 27 年 3 月 31 日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

平成 27 年 3 月 31 日現在  
(敬称略)

1) 役員<理事 (12 名)・監事 (3 名)>

理事長	小 枝 至	[日 産 自 動 車(株)]	相談役名誉会長]
副理事長	張 富士夫	[ト ヨ タ 自 動 車(株)]	名 誉 会 長]
理 事	永 塚 誠 一	[(-社)日 本 自 動 車 工 業 会]	副会長・専務理事]
理 事	川 嶋 温	[(-社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会]	特 別 参 与]
理 事	下 平 隆	[(-社)日 本 自 動 車 整 備 振 興 会 連 合 会]	専 務 理 事]
理 事	久 米 正 一	[(-社)日 本 自 動 車 連 盟]	専 務 理 事]
理 事	戸 澤 秀 実	[(-社)全 国 軽 自 動 車 協 会 連 合 会]	専 務 理 事]
理 事	堀 政 良	[(-社)日 本 損 害 保 險 協 会]	専 務 理 事]
理 事	高 橋 基 之	[全 国 高 等 学 校 長 協 会]	会 長]
理 事	長 田 利 彦	[(-公)全 国 工 業 高 等 学 校 長 協 会]	顧 問]
専務理事	花 田 隆 夫	[(-財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団]	事 務 局 常 勤]
常務理事	上 橋 義 弘	[(-公)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団]	事 務 局 常 勤]
<hr/>			
監 事	大 上 工	[(-社)日 本 自 動 車 工 業 会]	理 事・事 務 局 長]
監 事	深 田 一 政	[(-社)日 本 損 害 保 險 協 会]	常 務 理 事]
監 事	軽 部 博	[日 産 自 動 車(株)]	常 務 執 行 役 員]

2) 評議員 (22 名)

評 議 員	五十嵐 善一郎	[全 国 総 合 学 科 高 等 学 校 長 協 会]	理 事 長]
評 議 員	加 藤 秀 次	[全 国 自 動 車 教 育 研 究 会]	会 長]
評 議 員	上 村 肇	[全 国 公 民 科・社 会 科 教 育 研 究 会]	会 長]
評 議 員	木 村 寛 治	[日 本 工 業 大 学]	名 誉 教 授]
評 議 員	中 谷 良 平	[(-社)日 本 自 動 車 機 械 工 具 協 会]	会 長]
評 議 員	武 藤 孝 弘	[(-財)日 本 中 古 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会]	専 務 理 事]
評 議 員	半 田 茂	[(-財)日 本 自 動 車 研 究 所]	専 務 理 事]
評 議 員	新 地 秀 一	[(-社)日 本 自 動 車 会 議 所]	専 務 理 事]
評 議 員	井 坂 智 夫	[(-財)日 本 自 動 車 査 定 協 会]	専 務 理 事]
評 議 員	舟 橋 和 幸	[(-社)自 動 車 公 正 取 引 協 議 会]	専 務 理 事]
評 議 員	小 林 健 二	[日 本 自 動 車 輸 入 組 合]	常 務 理 事]
評 議 員	高 畑 敬 信	[(-公)自 動 車 製 造 物 責 任 相 談 セ ン タ ー]	常 務 理 事]
評 議 員	吉 田 量 年	[(-社)日 本 自 動 車 車 体 工 業 会]	専 務 理 事]
評 議 員	西 脇 尚 澄	[(-財)自 動 車 検 査 登 録 情 報 協 会]	専 務 理 事]
評 議 員	石 附 弘	[(-公)国 際 交 通 安 全 学 会]	専 務 理 事]
評 議 員	江 頭 敏 明	[三 井 住 友 海 上 火 災 保 險(株)]	取 締 役 会 長]
評 議 員	櫻 田 謙 悟	[(-株)損 害 保 險 ジ ャ パ ン]	取 締 役 会 長]
評 議 員	隅 修 三	[東 京 海 上 日 動 火 災 保 險(株)]	取 締 役 会 長]
評 議 員	山 本 芳 春	[本 田 技 研 工 業(株)]	取 締 役 専 務 執 行 役 員]
評 議 員	金 井 誠 太	[マ ツ ダ(株)]	取 締 役 会 長]
評 議 員	益 子 修	[三 菱 自 動 車 工 業(株)]	取 締 役 会 長]
評 議 員	児 玉 正 之	[あ い お い ニ ッ セ イ 同 和 損 害 保 險(株)]	特 別 顧 問]

最高顧問 豊 田 章一郎  
最高顧問 豊 田 達 郎

### 3. 会議記録

#### 1) 第7回 理事会

- (1) 日 時 平成 26 年 5 月 29 日 (木) 16:00~17:00
- (2) 場 所 芝パークホテル アゼリア
- (3) 議 案 ①平成 25 年度事業報告及び決算報告について  
②第 3 回定時評議員会開催について
- (4) 報 告 ①平成 26 年度事業進捗状況の報告

#### 2) 第3回 定時評議員会

- (1) 日 時 平成 26 年 6 月 12 日 (木) 16:00~16:50
- (2) 場 所 経団連会館 506 号室
- (3) 議 案 ①議長選出  
②議事録署名人選出  
③平成 25 年度事業報告および決算報告について  
④評議員の一部選任について  
⑤理事の一部選任について

#### 3) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①評議員辞任につき後任候補者選任の件  
②理事辞任につき後任候補者選任の件  
③臨時評議員会開催の件
- (2) 提案日 平成 26 年 7 月 3 日 (木)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成 26 年 7 月 15 日 (火)

#### 4) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①評議員辞任につき後任者選任の件  
②理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 平成 26 年 7 月 16 日 (水)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成 26 年 8 月 18 日 (月)

#### 5) 第8回 理事会

- (1) 日 時 平成 27 年 3 月 24 日 (火) 13:00~14:00
- (2) 場 所 芝パークホテル アイリス
- (3) 報 告 ①平成 26 年度事業進捗状況の報告
- (4) 議 案 ①平成 27 年度事業計画および収支予算について  
②財団事務局職員の異動について  
③今後の理事会・評議員会開催日程について



## 4. 委員会

### 1) 委員会の所管事項

#### (1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

#### (2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容について審査・選考する事項

#### (3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項  
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

##### ①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

##### ②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

##### ③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及事業に関する事項

### 2) 委員会委員

平成27年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

#### (1) 企画委員会 (9名)

委員長	安田 克明	[日産自動車(株)]	渉外部 部長
副委員長	西田 明生	[トヨタ自動車(株)]	渉外部 渉外室長
委員	相原 康浩	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	個人商品部長
委員	大知 久一	[三井住友海上火災保険(株)]	執行役員 自動車保険部長
委員	大沼 伸子	[三菱自動車工業(株)]	総務渉外部 エキスパート
委員	平尾 昌也	[損害保険ジャパン日本興亜(株)]	自動車産業企画部企画グループ 課長
委員	福田 安展	[東京海上日動火災保険(株)]	執行役員 自動車営業開発部長
委員	松島 豊和	[マツダ(株)]	渉外調査部 主幹
委員	三ヶ尻 裕	[本田技研工業(株)]	渉外部 担当部長

#### (2) 審査委員会 (8名)

委員長	木村 寛治	[日本工業大学]	名誉教授
副委員長	花田 隆夫	[(公財)日本自動車教育振興財団]	専務理事
委員	猪口 明	[全国自動車教育研究会]	名誉顧問
委員	加藤 秀次	[東京都立蔵前工業高等学校]	校長
委員	木舟 作楽	[(一社)日本損害保険協会 生活サービス部安全安心推進グループリーダー]	
委員	島崎 有平	[(一社)日本自動車販売協会連合会]	常務理事
委員	瀧上 文雄	[(公社)全国工業高等学校長協会]	事務局長
委員	安田 克明	[日産自動車(株)]	渉外部 部長

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	島崎 有平	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事〕
副委員長	五味 正夫	〔(一社)日本損害保険協会	生活サービス部長〕
委員	高橋 徹	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	教育・技術部 部長代理〕
委員	瀧上 文雄	〔(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長〕
委員	塚越 静雄	〔(一社)日本自動車工業会	総務統括部長〕
委員	永田 一彦	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部部長〕
委員	古田 憲一	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	二輪業務部 部長〕

①技術教育部会 (8名)

部会長	藤原 登	〔マツダ(株)	法人営業部東京法人販売グループ エキスパート〕
副部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株)	サービス本部サービスエンジニアリング部マネージャー〕
委員	木村 壮一	〔東京都立総合工科高等学校	機械・自動車科 教諭〕
委員	黒田 卓也	〔トヨタ自動車(株)	国内サービス部 総括室 東京サービスグループ〕
委員	清水 譲二	〔日産自動車(株)	TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外 主査〕
委員	角南 光洋	〔本田技研工業(株) 日本営業本部四輪品質サービス部サービス人材育成課	課長〕
委員	富山 健治	〔東京都立六郷工科高等学校	オートモビル工学科 教諭〕
委員	山本 義章	〔(一社)日本自動車機械工具協会	校正企画部 企画課 係長〕

②調査普及部会 (9名)

部会長	高橋 信行	〔(一社)日本自動車工業会	業務統括部 副統括部長〕
副部会長	駒崎 源喜	〔トヨタ自動車(株)	渉外部渉外室 担当課長〕
委員	木舟 作楽	〔(一社)日本損害保険協会	損生活サービス部 安全安心推進グループリーダー〕
委員	小林 義信	〔(一社)日本自動車会議所	理事〕
委員	志摩 昌彦	〔東京海上日動火災保険(株)	自動車営業開発部 部長〕
委員	高橋 勝也	〔鳴門教育大学大学院	〕
委員	竹村 公一	〔損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)	自動車リスクコンサルティング本部 企画開発部長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校	教諭〕
委員	長谷川雅美	〔三井住友海上火災保険(株)	損害サポート業務部 自動車チーム 主任〕

③研修部会 (8名)

部会長	廣野 常也	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	調査企画部 部長〕
副部会長	宮腰 直人	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部 事業推進課長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校	公民科教諭〕
委員	小川 政裕	〔(一社)日本損害保険協会	生活サービス部企画グループリーダー〕
委員	田中 篤司	〔専門学校 日産横浜自動車大学校	校長〕
委員	柘植 正邦	〔本田技研工業(株)	渉外部 技術主任〕
委員	古田 憲一	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	二輪業務部 部長〕
委員	八木橋稔之	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	法務部次長〕

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

- ①第7回 平成26年5月15日(木) 14:00~15:30  
議題 ①第7回理事会提案資料について  
②第3回定時評議員会提案資料について
- ②第8回 平成26年11月4日(火) 14:00~15:30  
議題 ①平成26年度上期財団事業進捗状況について
- ③第9回 平成27年2月27日(金) 14:00~15:30  
議題 ①第8回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

- ①第2回 平成26年7月31日(木) 12:30~14:30  
議題 ・平成26年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考  
(支援対象校及び支援内容の決定)

(3) 事業委員会

- ①第5回 平成26年10月30日(木) 15:00~16:30  
議題 ①平成26年度上期財団事業進捗状況について
- ②第6回 平成27年2月25日(水) 15:00~16:30  
議題 ①平成26年度事業進捗状況及び平成27年度事業計画(案)について

(4) 技術教育部会

- ①第9回 平成26年5月19日(月) 15:30~16:50  
議題 ①平成26年度自動車教育用教材の公募案内について  
②平成24年度教材提供校自動車教育用教材活用状況について  
③平成26年度技術系講師派遣について
- ②第10回 平成26年7月24日(木) 16:30~18:00  
議題 ①平成26年度教材提供活動応募状況の報告  
②平成26年度審査委員会提案内容説明と確認  
③平成26年度技術系講師派遣応募・実施状況の報告
- ③第7回 平成26年10月27日(月) 15:30~16:50  
議題 ①平成26年度技術教育支援事業・上期実績報告  
②平成26年度技術系講師派遣状況について
- ④第8回 平成27年2月16日(火) 15:30~16:50  
議題 ①平成27年度財団事業計画(案)について  
②平成27年度技術教育支援事業計画(案)について  
③平成27年度技術系講師派遣メニュー(案)について  
④平成27年度自動車教育用教材メニュー(案)について

(5) 調査普及部会

- ①第5回 平成26年10月24日(金) 15:00～16:30  
議題 ①平成26年度 調査研究事業の進捗状況について  
②平成26年度 普及啓発事業の進捗状況について
- ②第6回 平成27年2月19日(木) 15:30～17:00  
議題 ①平成27年度 財団事業計画(案)について  
②平成27年度 調査研究事業計画(案)について  
③平成27年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

- ①第5回 平成26年10月29日(水) 15:00～16:30  
議題 ①平成26年度 研修事業上期進捗状況について
- ②第6回 平成27年2月12日(木) 15:00～16:30  
議題 ①平成27年度 財団事業計画(案)について  
②平成27年度 研修事業計画(案)について

※上記の委員会・部会開催実績における開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月～)の通算回数を表記した。

## 5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、日本自動車連盟支部、軽自動車協会、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各県の高等学校を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、全国組織である自動車教育財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

「自動車教育推進協議会」設置状況一覧表

平成27年3月31日現在

名称	設置年月日 (平成)	会長	事務局	
			事務局長	所在地(連絡先)
1 北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	杉本 互	福田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3 札幌自動車会館 (Tel. 011-753-5162)
2 青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	今井 高志	牧野 健一	青森市奥野 1-12-3 (Tel. 017-776-4211)
3 岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	吉田 典雄	山口 正	紫波郡矢巾町流通センター南 2-8-3 (Tel. 019-637-2881)
4 宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	野萱 和夫	菊地 憲満	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館 (Tel. 022-232-1571)
5 福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	佐藤 修朗	宮村 和男	福島市吉倉字名倉 1-1 (株)福自販会館 (Tel. 024-546-1664)
6 秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	三浦 廣巳	小松 龍夫	秋田市八橋大畑 2-12-55 (Tel. 018-862-1117)
7 山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小関 眞一	松田 憲幸	山形市大字漆山字行段 1422 (Tel. 023-686-4521)
8 新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	等々力 徹	上田 大喜雄	新潟市中央区東出来島 11-16 新潟県自動車会館 (Tel. 025-285-6286)
9 (一社)長野県自動車販売店協会	13. 5.23	宇都宮 進一	上原 英二	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館 (Tel. 026-226-5416)
10 茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	幡谷 定俊	市川 昌幸	水戸市住吉町 292-5 茨城県自動車会館 (Tel. 029-247-4860)
11 栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	新井 祥司	鈴木 忠明	宇都宮市今宮 2-4-6 栃木県自動車会館 (Tel. 028-658-8811)
12 群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	都丸 正樹	三木 建男	前橋市野中町 564 群馬自販会館 (Tel. 027-261-0830)
13 埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	平沼 一幸	山根 博安	さいたま市西区大字中釘 2255 (株)埼玉自販会館 (Tel. 048-623-1211)
14 千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	加藤 勇	芝入 徳夫	千葉市美浜区新港 207 (Tel. 043-242-3321)
15 東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	金子 繁則	福田 信行	東京都品川区西五反田 4-32-9 (Tel. 03-3491-8241)
16 神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	上野 建彦	山田 徹	横浜市都筑区池辺町 3663 神奈川自販会館 (Tel. 045-933-3626)
17 山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	田中 好輔	興石 光彦	笛吹市石和町唐栢 1000-7 山梨県自動車販売店会館 (Tel. 055-263-3001)
18 富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	黒澤 敏	上田 久夫	富山市新庄町馬場 18-8 富山自販会館 (Tel. 076-425-8353)
19 石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	要明 英二	田賀 勝	金沢市入江 3-134 石川県自動車販売店会館 (Tel. 076-291-7111)
20 福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	多田 伸	酒井 定雄	福井市西谷 1-1401 福井県自動車会館 (Tel. 0776-34-1622)
21 岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	村瀬 洋介	小野 武	岐阜市日置江 2648-2 岐阜自動車会館 (Tel. 058-279-3761)
22 静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	杉山 智彦	平川 君男	静岡市駿河区国吉田 2-4-35 静岡県自販会館 (Tel. 054-261-2177)
23 愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小栗 一朗	大林 嘉明	名古屋市中川区昭和橋通 4-8-2 愛知県自販会館 (Tel. 052-353-6161)
24 三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩井 純朗	松尾 元弘	津市雲出常町字六ノ割1190-1 三重県自動車会館 (Tel. 059-234-4567)
25 滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	井上 雄二	塚本 治雄	守山市木浜町2299-12 滋賀県自販会館 (Tel. 077-585-7292)
26 京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	森川 莫臣	小寺 雅夫	京都市伏見区竹田向代町 51-5 京都自動車会館 (Tel. 075-671-6121)
27 大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	堀内 俊樹	柳田 重利	寝屋川市高宮栄町 13-1 (Tel. 072-821-5522)
28 兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	西原 興一郎	平田 博美	神戸市東灘区魚崎町 33 兵庫県自動車会館 2F (Tel. 078-441-1501)
29 奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊池 攻	辻 隆範	大和郡山形市額田部北町 981-8 奈良県自動車会館内 (Tel. 0743-56-8458)
30 和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	横山 善行	藪田 偉	和歌山市湊 1106 和歌山県自動車会館 (Tel. 073-422-2027)
31 鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	大月 徹	川瀬 芳美	鳥取市丸山町 246-1 (Tel. 0857-24-6171)
32 島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村 健造	久保田 茂実	松江市馬渡町 43-4 (Tel. 0852-37-0044)
33 岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	山口 洋之	鳴坂 和夫	岡山市高屋 119-5 岡山県自動車販売店会館 (Tel. 086-272-3325)
34 広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	上野 弘文	藤原 弘登	広島市西区鞆音新町 4-13-13 広島県自動車会館 (Tel. 082-232-4418)
35 山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	中野 文夫	小林 繁	山口市葵 1-5-58 山口県自動車会館 (Tel. 083-922-0909)
36 徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	河野 宏	武田 耕二	徳島市神町神産業5地 1-6 徳島県自動車会館 (Tel. 088-641-2665)
37 香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	国東 直矢	森 幹男	高松市香西東町 278-1 (Tel. 087-881-4996)
38 愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	五味 久枝	高田 昌資	松山市森松町 1075-2 (Tel. 089-956-2747)
39 高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	西山 忠利	秋山 教二郎	高知市大津乙 1879-5 高知県自動車会館 (Tel. 088-866-6000)
40 福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	有田 耕一	古賀 敏行	福岡市東区千早 3-9-23 福岡交通会館 (Tel. 092-681-5963)
41 佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前田 博憲	本村 修紹	佐賀市若楠 2-7-1 佐賀県自販会館 (Tel. 0952-31-1335)
42 長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	円田 昭	古田 和幸	長崎市中里町 1576-7 長崎県自販連会館 (Tel. 095-839-2611)
43 熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	與繩 義昭	山根 法生	熊本市東区東町 4-14-8 熊本県自動車会館 (Tel. 096-365-0638)
44 大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	渡邊 教和	彌田 達美	大分市大津町 3-4-13 大分県交通会館 1F (Tel. 097-558-7791)
45 宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋 恒夫	中武 光博	宮崎市大字本郷北方字鶴尾 2735-25 宮崎県自販会館 (Tel. 0985-51-8255)
46 鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	諏訪 秀治	平原 清雪	鹿児島市谷山港 2-4-9 鹿児島県自動車会館 (Tel. 099-262-0011)
47 沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	堀川 恭進	平良 幸生	浦添市港川 512-8 沖縄県自動車会館 (Tel. 098-877-5225)

## 〔Ⅲ〕 事業活動

### 1. 自動車技術教育支援事業

#### 1) 機材提供活動

公募に向けて、自動車技術教育用教材メニューの更なる充実を図る為、従来の27メニューに1メニュー追加を行なった。具体的には、昨年要望があったエンジンスタンド簡易型4台のメニューを追加した。

公募は、14都道府県294校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会または全国自動車教育研究会に加盟している高校）を対象に実施し、87校から応募申請があった。

これらの応募申請について、7月31日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、14都道府県、87校の高校に自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は、10月～3月にかけて各高校へ発送を行い、平成27年度以降、各校の教育現場にて活用いただく予定である。

#### (1) 平成26年度 自動車技術教育用教材メニュー 一覧

学習区分	記号	機 材 名
視聴覚 教材	1	自動車の基礎・電気
	2	自動車の機械基礎
	3	エンジンの作動原理
	4	駆動・制動装置
	5	動力伝達装置
	6	走行装置とかじ取り装置
	7	ディーゼルエンジン燃料装置
	8	自動車の電気・電子技術
	9	自動車の新技術
	10	eTOOLBOX ハイブリッド自動車編
初級教材	11	動く掛図教材（4サイクル・2サイクル）
	12	分解組立用エンジン（汎用・126cc）
	13	分解組立用キャブレターエンジン
	14	分解組立用電子制御エンジン（軽自動車）
	15	分解組立用電子制御エンジン（小型車）
	16	実習用工具セット
	17	実習用工具トルクレンチ
	18	急速充電器
	19	低床型手動ジャッキ足踏付 2t
	20	エンジンスタンド簡易型
中級教材	21	エンジンテスターセット
	22	トランスミッション
	23	電子ブロック実験装置
	24	燃料電池実験キット
	25	ビデオスコープ
上級教材	26	実車（中古車）
	27	エンジン実習装置
	28	故障診断機

(2) 応募及び審査結果

公募地域 (B地区)	北海道、栃木、埼玉、東京、千葉、神奈川、富山、石川、福井、 鳥取、島根、岡山、広島、山口 合計 14 都道府県 (対象校は 294 校)	
応募校数	14 都道府県、87 校	
支援校数	14 都道府県、87 校 (提供校の詳細は 15 頁の提供校 一覧表をご参照方)	累計支援校数 1,528 校 (平成 3 年からの累計数)

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

平成 24 年度に教材提供を受けた高校を対象に、平成 25 年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。その内容は活用報告書としてまとめ、技術教育部会にて報告すると共に、今後の教材提供活動の参考資料とした。

教材 区分	教材名	提 供 校 数	年間総使用 (平均)		
			活用対象生徒数 (人/1校あたり)	年間総使用回数 (回/1校あたり)	年間総使用日数 (日/1校あたり)
視 聴 覚 教 材	自動車の基礎・電気	13	76	24	16
	自動車の機械基礎	2	25	9	9
	エンジンの作動原理	8	89	9	10
	駆動・制動装置	2	100	18	18
	動力伝達装置	1	42	16	8
	走行装置とかじ取り装置	0	0	0	0
	ディーゼルエンジン燃料装置	0	0	0	0
	自動車の電気・電子技術	0	0	0	0
	自動車の新技術	0	0	0	0
	e TOOLBOX ハイブリッド自動車編	1	71	2	2
動く掛図教材(4サイクル・2サイクル)	3	142	31	31	
初 級	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	16	46	21	20
	分解組立用キャブレター式エンジン	2	80	24	24
	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	6	64	28	32
	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	11	43	49	36
	実習用工具セット	5	49	48	38
	実習用工具トルクレンチ	3	96	27	27
	急速充電器	3	68	53	21
低床型手動ジャッキ足踏み 2 t	1	80	30	30	
中 級	エンジンテスターセット	0	0	0	0
	トランスミッション	1	80	6	6
	電子ブロック実験装置	1	33	24	24
	燃料電池実験セット	0	0	0	0
	ビデオスコープ	3	38	13	13
上 級	実車 (中古車)	5	62	35	38
	エンジンベンチ	2	74	70	70
	故障診断機	3	52	14	14
	合計 (平均)	92	64	28	24

## 2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、汎用エンジン・分解組立用エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

分解組立用エンジンを提供した 11 校に対しては、教材納入が始まる 11 月に、専門指導員による指導内容を撮影・編集した「分解・組立 DVD ビデオ」を提供した。

また、汎用エンジンを提供した 23 校に対しては、教材納入時（10 月）に同エンジン製造メーカーの専門家が各提供校へ訪問し、エンジン教材の活用方法や安全管理等に関する指導教諭へのアドバイスをを行った。

### (1) 「分解・組立 DVD ビデオ」の提供校

	高等学校名
1	北海道紋別高等学校
2	栃木県立矢板高等学校
3	東京都立墨田工業高等学校（定時制）
4	東京都立練馬工業高等学校
5	富山県立魚津工業高等学校
6	福井県立若狭東高等学校
7	岡山県立倉敷工業高等学校
8	岡山県立水島工業高等学校
9	山口県立岩国工業高等学校
10	山口県立下松工業高等学校
11	山口県立美祢青嶺高等学校

### (2) 訪問指導実施校

	学校名	実施日
1	栃木県立今市工業高等学校	10/29（水）
2	埼玉県立春日部工業高等学校	10/29（水）
3	埼玉県立熊谷工業高等学校	10/29（水）
4	埼玉県立三郷工業技術高等学校	10/28（火）
5	千葉県立千葉工業高等学校	10/28（火）
6	千葉県立茂原樟陽高等学校	10/28（火）
7	東京都立杉並工業高等学校	10/16（木）
8	東京都立総合工科高等学校	10/16（木）
9	日本工業大学駒場高等学校	10/16（木）
10	神奈川県立小田原城北工業高等学校	10/17（金）
11	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	10/17（金）
12	富山県立滑川高等学校	10/24（金）
13	富山県立高岡工芸高等学校	10/24（金）
14	石川県立小松工業高等学校	10/23（木）
15	石川県立羽咋工業高等学校	10/24（金）
16	福井県立科学技術高等学校	10/23（木）
17	福井県立武生工業高等学校	10/23（木）
18	岡山県立東岡山工業高等学校	10/22（水）
19	広島県立福山工業高等学校	10/22（水）
20	広島県立神辺高等学校	10/22（水）
21	山口県立柳井商工高等学校	10/21（火）
22	山口県立南陽工業高等学校	10/21（火）
23	山口県立宇部鴻城高等学校	10/21（火）



3) 協賛支援活動

協賛支援活動として、下記の第 57 回全国自動車教育研究大会を支援した。

名 称	第 57 回全国自動車教育研究大会
主 催	全国自動車教育研究会
目 的	高等学校・高等専門学校 of 自動車関連学科における自動車教育に関わる教職員の資質向上と自動車教育の振興と発展を図る。
参加者	全国高等学校における自動車教育関係職員 約 100 名
開催時期	平成 26 年 10 月 16 日(木)～17 日(金) (於：青森県 弘前東高等学校)
協賛金	1, 500, 000 円

4) 交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供対象 14 都道府県については、全県で教材贈呈式及び教育懇談会を実施した。そこでは、教材提供を受けた高校の校長・担当教諭を始めとする教育関係者と、自動車教育推進協議会のメンバーによる、自動車技術教育の現状と課題についての熱心な情報交換が行われ、今後の自動車教育推進の参考となる実り多い会合となった。

(参加者の詳細は、39～45 頁の【資料 2】をご参照方)

[贈呈式・教育懇談会開催一覧]

地域	校数	開催日		開催場所	参加人数		
					協議会	学校関係	計
富山	4	11 月 12 日	水	富山県自販会館	7	9	16
石川	5	11 月 13 日	木	ホテル日航金沢	8	12	20
福井	7	11 月 20 日	木	ブランカ	8	14	22
島根	1	11 月 20 日	木	島根県立出雲工業高等学校	2	3	5
鳥取	1	11 月 21 日	金	鳥取県立境港総合技術高等学校	2	6	8
山口	10	11 月 26 日	水	翠山荘	10	20	30
栃木	4	11 月 27 日	木	栃木県自動車会館	5	8	13
東京	15	11 月 28 日	金	目黒雅叙園	13	21	34
神奈川	3	12 月 1 日	月	ホテル横浜キャメロットジャパン	6	9	15
千葉	5	12 月 2 日	火	ホテルポートプラザちば	5	9	14
広島	8	12 月 3 日	水	ホテル広島ガーデンパレス	8	12	20
岡山	10	12 月 9 日	火	岡山全日空ホテル	6	19	25
埼玉	7	12 月 11 日	木	浦和ロイヤルパインズホテル	19	13	32
北海道	7	1 月 6 日	火	札幌全日空ホテル	3	20	23
合計	87				102	175	277

平成26年度  
自動車教育用教材提供校一覧表

分類番号	県名	学校名	機材名	数量	分類番号	県名	学校名	機材名	数量
K01	北海道	1 北海道札幌工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個	K46	石川	1 石川県立大聖寺実業高等学校	故障診断機	1台
K02		2 北海道札幌琴似工業高等学校	実習用工具セット	4セット	K47		2 石川県立小松工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K03		3 北海道旭川工業高等学校	エンジン実習装置	1台	K48		3 石川県立工業高等学校	実習用工具セット	4セット
K04		4 旭川実業高等学校	低床型手動ジャッキ足踏付 2 t	1台	K49		4 石川県立羽咋工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K05		5 北海道紋別高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K50		5 石川県立七尾東雲高等学校	視聴覚教材 (自動車の基礎・電気)	1セット
K06		6 北海道釧路工業高等学校	視聴覚教材 (自動車の基礎・電気)	1セット	K51		1 福井県立科学技術高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K07		7 北海道帯広工業高等学校	故障診断機	1台	K52		2 福井県立坂井高等学校	実習用工具セット	4セット
K08	栃木	1 栃木県立宇都宮白楊高等学校	実習用工具セット	4セット	K53	3 福井県立春江工業高等学校	実車 (中古車)	1台	
K09		2 栃木県立宇都宮工業高等学校	視聴覚教材 (eTOOLBOX ハブリット自動車編)	1セット	K54	4 福井県立奥越明成高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個	
K10		3 栃木県立今市工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K55	5 福井県立武生工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	
K11		4 栃木県立矢板高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K56	6 福井県立敦賀工業高等学校	電子ブロック実験装置	1セット	
K12	埼玉	1 埼玉県立川口工業高等学校	実習用工具セット	4セット	K57	7 福井県立若狭東高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	
K13		2 埼玉県立浦和工業高等学校	実習用工具セット	4セット	K58	鳥取 島根	1 鳥取県立境港総合技術高等学校	電子ブロック実験装置	1セット
K14		3 埼玉県立狭山工業高等学校	視聴覚教材 (自動車の新技術)	1セット	K59		1 島根県立出雲工業高等学校	実習用工具セット	4セット
K15		4 埼玉県立大宮工業高等学校	トランスミッション	2台	K60	岡山	1 岡山県立岡山工業高等学校	視聴覚教材 (自動車の機械・基礎)	1セット
K16		5 埼玉県立春日部工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K61		2 岡山県立東岡山工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K17		6 埼玉県立熊谷工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K62		3 岡山県立倉敷工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台
K18		7 埼玉県立三郷工業技術高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K63		4 岡山県立水島工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台
K19	1 千葉県立京葉工業高等学校	動く掛図教材 (4サイクル・2サイクル)	1セット	K64	5 岡山県立笠岡工業高等学校		実習用工具トルクレンチ	4個	
K20	2 千葉県立千葉工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K65	6 岡山県立高梁城南高等学校		燃料電池実験セット	1セット	
K21	3 千葉県立下総高等学校	トランスミッション	2台	K66	7 岡山県立勝間田高等学校		視聴覚教材 (自動車の基礎・電気)	1セット	
K22	4 千葉県立茂原樟陽高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K67	8 倉敷市立工業高等学校		実習用工具セット	4セット	
K23	5 千葉県立君津青葉高等学校	動く掛図教材 (4サイクル・2サイクル)	1セット	K68	9 岡山商科大学附属高等学校		視聴覚教材 (自動車の基礎・電気)	1セット	
K24	1 東京都立足立工業高等学校	視聴覚教材 (エンジンの作動原理)	1セット	K69	10 おかやま山陽高等学校		分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	
K25	東京	2 東京都立葛西工業高等学校	実車 (中古車)	1台	K70	広島	1 広島県立因島高等学校	視聴覚教材 (エンジンの作動原理)	1セット
K26		3 東京都立北豊島工業高等学校	視聴覚教材 (eTOOLBOX ハブリット自動車編)	1セット	K71		2 広島県立福山工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K27		4 東京都立蔵前工業高等学校	視聴覚教材 (エンジンの作動原理)	1セット	K72		3 広島県立福山工業高等学校 (定)	実習用工具セット	4セット
K28		5 東京都立杉並工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K73		4 広島県立神辺高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K29		6 東京都立墨田工業高等学校	エンジン実習装置	1台	K74		5 広島県立戸手高等学校	エンジンテスターセット	1セット
K30		7 東京都立墨田工業高等学校 (定)	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K75		6 広島県立府中東高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個
K31		8 東京都立総合工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K76		7 広島市立広島工業高等学校	エンジン実習装置	1台
K32		9 東京都立総合工科高等学校 (定)	実車 (中古車)	1台	K77		8 呉港高等学校	実習用工具セット	4セット
K33		10 東京都立つばさ総合高等学校	視聴覚教材 (自動車の機械・基礎)	1セット	K78	山口	1 山口県立岩国工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台
K34		11 東京都立練馬工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (小型車)	4台	K79		2 山口県立柳井商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K35		12 東京都立町田工業高等学校	視聴覚教材 (自動車の基礎・電気)	1セット	K80		3 山口県立田布施農工高等学校	実習用工具トルクレンチ	4個
K36		13 東京都立六郷工科高等学校	トランスミッション	2台	K81		4 山口県立下松工業高等学校	分解組立用キャブレターエンジン	2台
K37		14 大森学園高等学校	視聴覚教材 (エンジンの作動原理)	1セット	K82		5 山口県立徳山商工高等学校	実習用工具セット	4セット
K38		15 日本工業大学駒場高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K83		6 山口県立南陽工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K39		神奈川	1 神奈川県立平塚工科高等学校	故障診断機	1台		K84	7 山口県立防府商工高等学校	視聴覚教材 (走行装置とかじ取り装置)
K40	2 神奈川県立小田原城北工業高等学校		分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K85		8 山口県立美祿青嶺高等学校	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	4台
K41	3 神奈川県立神奈川総合産業高等学校		分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台	K86		9 宇部鴻城高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台
K42	富山	1 富山県立魚津工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン (軽自動車)	4台	K87		10 下関国際高等学校	視聴覚教材 (自動車の基礎・電気)	1セット
K43		2 富山県立滑川高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台					
K44		3 富山県立富山工業高等学校	視聴覚教材 (自動車の新技術)	1セット					
K45		4 富山県立高岡工芸高等学校	分解組立用エンジン (汎用・126cc)	4台					

< 県別内訳 >

北海道 7校 栃木 4校 埼玉 7校 千葉 5校 東京 15校 神奈川 3校 富山 4校  
石川 5校 福井 7校 鳥取 1校 島根 1校 岡山 10校 広島 8校 山口 10校

合計 14都道県 87校

## 2.調査研究事業

### 1) 調査活動

若者のクルマに対する関心低下の課題を踏まえ、高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

#### (1) 海外調査の実施

本年度は、「オリンピックと交通」のテーマで、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、いかに交通環境を整備すべきか考察するために既開催国においていかに交通対策を実施したのか調査した。



第1回目は6月下旬から7月上旬にかけて、イギリス（ロンドン；2012年夏季開催）、ギリシャ（アテネ；2004年夏季開催）を、第2回目はカナダ（バンクーバー・ウィスラー；2010年冬季開催、カルガリー；1988年冬季開催）の交通実態を調査した。

訪問都市で共通して言えるのは、まずは観客移動や空港からのアクセスのための公共交通を整備している点である。ロンドンでは、郊外に新設されたメイン会場へのアクセスとして2路線を新設し4路線としたほか、テニス会場となったウィンブルドンに通じるLRT（ライトレイルトランジット）を新設している。アテネ、バンクーバーもロンドンほどではないものの、空港アクセスをはじめ鉄道整備を行なっている。

道路交通の面からは、オリンピック期間中、選手や大会関係者の移動のために「オリンピック専用レーン」の設置が求められる。ロンドンでは、幹線道路にはもともとバス専用レーンが設けられており、しかも朝夕のラッシュ時にしか適用されない日本と異なり日中を通じてバス専用レーンとなっている。こうした交通の分流ができていることから、ロンドン駐在員に話を聞いてもオリンピック期間において道路交通の混乱は見られなかったということである。

また、訪問都市では、歩行者、自転車、クルマの整流化により、それぞれが安心して通行できる環境を整備している点も特徴である。なかでもロンドンでは、「環境オリンピック」をめざし、自転車専用レーンの整備や自転車シェアリングを積極的に推進し、市長自ら自転車通勤するほどの力の入れようをみせた。これにより、自転車後進国と言われていたロンドンが現在では多くの自転車通勤者が行き交う都市に変貌している。

#### 【海外調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	平成26年6月23日～7月3日	平成26年9月15日～26日
テーマ	オリンピック既開催都市の公共交通対策、道路交通対策	
調査先	イギリス（ロンドン；2012年夏季）、ギリシャ（アテネ；2004年夏季）	カナダ（バンクーバー・ウィスラー；2010年冬季、カルガリー；1988年冬季）
調査の様子		 ▲バンクーバー：空港と市内を結ぶ新設のカナダライン



## (2) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を2回実施した。第1回目は8月に、大型商業施設の駐車場を活用したパーク・アンド・ライドの事例として福岡市を調査した。パーク・アンド・ライドは日本でも多くの都市で実施されてきたが、欧米と異なり、パーク・アンド・ライドを行うために自治体が駐車場の用地確保や建設を行なうことはほとんどなく、既存の公共施設の駐車場の一部を割り当てているだけであったり、民間の有料駐車場をパーク・アンド・ライド用として指定したりしているだけで、利用料は多少安くなっているとはいえ、負担の大きさからなかなか浸透していないのが実情である。

このような状況を踏まえ、駅やバス停に近い場所で大規模駐車場を有する大型商業施設と協働する新たな形態のパーク・アンド・ライドが登場している。大型商業施設は、休日の来店ピークに合わせた駐車台数を確保し、周辺の渋滞発生を防止することが法律によって義務付けられており、ほとんどの店が平日は駐車場が空いている。福岡市では、イオン香椎浜（かしいはま）・西鉄バスと連携し、この空いている駐車場を活用したパーク・アンド・ライドを2013年5月から実施している。利用料金を実質無料（イオンでの買い物に使える商品券購入、または電子マネーへのチャージが必要）にすることで利用者に好評を博している。このように駐車台数に余裕がある商業施設の駐車場を有効活用するパーク・アンド・ライドの推進は、渋滞緩和、環境負荷軽減につながるのみならず、クルマのドライバーにとっても渋滞のストレス軽減になり、よりよい交通環境につながるものである。

第2回目は11月に「高校生のバイク通学と交通安全教育」をテーマに、高校生の二輪車交通安全講習を調査した。高校生のバイク通学については、1980年代からおおよそ20年にわたり「三ない運動（バイクの免許を取らない、バイクに乗らない、バイクを買わない）」が展開され、「三ない運動」の全国展開がなくなった現在にお

いても、校則で学校独自にバイク通学を禁止しているところが多い。財団の広報誌「Traffi-Cation」の読者の先生方に実施したアンケートでは、実に8割の高校がバイク通学を禁止している状況である。一方で、山梨県では公共交通機関の制約、坂が多いという地形的特質からバイク通学を認めており、「三ない運動」が展開されていた時期でもバイク通学を認める高校が多かった。現在では県内41の高校の内、35の高校でバイク通学を認めている。

今回、県内でもバイク通学者が多く、自動車教習所と連携した交通安全講習を行っている北杜高等学校を取材した。北杜高等学校は2001年に3校が合併してできた高校で、通学圏が広く、生徒の3割(2・3年生では5割)がバイク通学をしている。効果的な交通安全教育を実施しようと、学校設立の翌年から長坂自動車教習所の協力を得て、年3回の交通安全講習を開催し、バイク通学の生徒は毎年受講する必要がある。取材した11月22日(土)は、午前と午後の2回に分けて主に2年生約120名の生徒が講習を受講した。講習は、交通法規を中心とした座学と、教習所のコースを使った実技で構成されている。

講習を受けた生徒に話を聞くと、「慣れてくると運転が雑になってくるので、講習を受けて安全運転意識が高まった」「初心を思い出した」「一時停止の意味が分かり、自転車に乗るときにも気をつけたい」など学習効果の高いことが伺われた。

#### 【国内調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	平成26年8月7日	平成26年11月22日
テーマ	商業施設の駐車場を活用したパーク&ライド	高校生のバイク通学与交通安全教育
調査先	福岡県	山梨県
調査の様子	 <p>▲イオン香椎浜のパーク&amp;ライド駐車場と駐車許可証(左上)</p>	 <p>▲自動車教習所のコースを使った交通安全講習の様子</p>

## 2) 教材作成活動

### (1) 記事の作成

海外調査の結果については、調査報告書を作成し財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、財団業務報告紙(『JAEF REPORT』)にて財団関係者へ概要を報告した。また、広報誌『Traffi-Cation』の掲載記事「海外交通事情報告」(2ページもの)として記事化した。また、国内調査の結果は広報誌『Traffi-Cation』の特集記事(5ページもの)として記事化した。

## (2) 副教材の作成・提供

### ①社会科用の新副教材の作成

地歴公民科（現代社会、政治経済、地理）向けの副教材「クルマを通じて社会を考える」を新たに制作し、1月に全国の高校に FAX で告知を行なった。従来の副教材（くらしシリーズ）を2倍以上上回る先生方から申し込みをいただき、26年度は約300名の先生方に提供を行なった。

### ②既存副教材の提供

昨年に引き続き、『くらしと交通安全』『くらしと交通』シリーズ (Vol.1～Vol.5) 『くらしと地球環境』シリーズ (Vol.1～2) 別冊 Traffic-Cation 国内交通事例特集』シリーズ (Vol.1～4) および『別冊 Traffic-Cation 海外交通事情報告』シリーズ (Vol.1～4) の告知・提供を行なった。

全国公民科・社会科教育研究会が主催した経済証券セミナーや同研究会全国大会にて財団活動や副教材の告知を実施した。また、ホームページ、広報誌、JAEF 研修会（年5回開催、参加者約160名）、および教育懇談会（14都道県で実施。先生方の参加140名）で副教材告知を実施。この結果、平成26年度は新副教材と合せ約1,100冊提供することができた。

### 3.研修事業

#### 1) 財団研修活動

JAEF 研修会（高等学校の教諭を対象に財団が主催する研修会）については、研修テーマを「環境・技術」、「交通安全」として合計5回開催し、高等学校教諭とオブザーバー合計で160名が参加した。

研修会場の選定にあたっては、首都圏（3回）、中部圏（1回）、関西圏（1回）の3地域で開催した。

先生方が参加しやすい環境作りの一環として、文部科学省および各開催府県の教育委員会の後援さらには、5つの高等学校教育関係団体から協賛を得た。

#### < JAEF 研修会開催実績 >

回数	月日と会場	講演テーマ、講師および見学施設	参加者数	後援/協賛
第93回	7月29日(火) 日本自動車会館 (東京都港区)	(講演) ・「危険予知による交通安全」 日本自動車連盟東京支部 事業課交通環境係長 片岡 大 氏	38名	文部科学省 全国高等学校校長協会 全国工業高等学校校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会
		(講演) ・「自転車利用環境 現状と課題」 NPO法人自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基 氏		
第94回	7月30日(水) 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)	(講演) ・「進化の忘れ物～人は『無責任』でいませんか」 鈴鹿サーキット交通教育センター インストラクター 島倉 勝 氏	27名	文部科学省 三重県教育委員会 全国高等学校校長協会 全国工業高等学校校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会
		(実習) ・サーキットでの安全運転トレーニング		
第95回	8月6日(水) ツインリンクもてぎ (栃木県芳賀郡)	(講演) ・「進化の忘れ物～人は『無責任』でいませんか」 アクティブセーフティトレーニングパーク インストラクター 鈴木 正司 氏	38名	文部科学省 栃木県教育委員会 全国高等学校校長協会 全国工業高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国総合学科高等学校校長協会 全国公民科・社会科教育研究会
		(実習) ・サーキットでの安全運転トレーニング		
第96回	8月20日(水) CIVIL研修センター (大阪市東淀川区)	(講演) ・「JAFデータによる交通安全」 日本自動車連盟大阪支部 事業課主事 川部 隆夫 氏	21名	文部科学省 大阪府教育委員会 全国高等学校校長協会 全国工業高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国総合学科高等学校校長協会 全国公民科・社会科教育研究会
		(講演) ・「自転車利用環境 現状と課題」 NPO法人自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基 氏		
第97回	9月19日(金) 東京ビッグサイト (東京都江東区)	(講演) ・「水素・燃料電池自動車FCEVの現状と今後の展開」 水素エネルギー製品研究試験センター 特別アドバイザー 中村 博 氏	36名	文部科学省 全国高等学校校長協会 全国工業高等学校校長協会 全国総合学科高等学校校長協会 日本私立中学高等学校連合会 全国公民科・社会科教育研究会
		(見学) ・EVEX (EV/PHV普及活用技術展) 2014		
計			160名	



## 2) 講師派遣活動

県教育委員会や学校関係団体が主催する研修会、及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を実施した。その結果、技術研修会・一般研修会あわせて243回の講師派遣が実施され、延べ92,725人の先生および生徒が参加した。これは、派遣件数、受講者数共に過去最多である。

また、初めて47の全都道府県で実施された。

243回の内訳は、テーマ別には技術研修会：24回、一般研修会：219回、対象者別には教諭対象：15回、教諭および生徒対象：228回であった。また、学校単位の開催も236回を数えた。

講師は研修テーマに合わせて、関係団体・企業の専門家等を派遣しているが、本年度は243回中234回について県推進協議会メンバーの日本自動車連盟、日本損害保険協会、整備振興会、自動車販売会社から講師派遣の協力を受けた。特に、先生・生徒を対象とした交通安全講習会は216回に上った。

(講師派遣の詳細は、30～38頁の【資料1】をご参照方)

### 平成26年度・講師派遣支援メニューと派遣件数

区分	ジャンル	研修メニュー	派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数 (回)
技術系	自動車の整備技術 〔体験型〕	① 「ガソリンエンジンの分解・組立」	整備振興会	2
		② 「トランスミッションの分解・組立」	整備振興会	0
		③ 「電子制御エンジンの構造と点検・整備」	整備振興会	0
	自動車の最新技術 〔講演型〕	④ 「トヨタ・ハイブリッド車について」	トヨタ系ディーラー	9
		⑤ 「日産・電気自動車について」	日産系ディーラー	2
		⑥ 「ホンダ・ハイブリッド車について」	ホンダ系ディーラー	3
		⑦ 「マツダ・SKYACTIV エンジンについて」	マツダ	2
		⑧ 「三菱・プラグインハイブリッド車について」	三菱自動車工業	4
		⑨ 「モータースポーツの技術と文化」他	NISMO, 国交省	2
技術系 計				24
一般系 (社会科系)	環境	⑨ 「地球温暖化防止と自動車技術」	自動車メーカー 自工会、他	3
	交通	⑩ 「ITSと未来の交通・まちづくり」	ITS Japan、他	0
	交通安全	⑪ 「危険予知による交通安全」	日本自動車連盟	135
		⑫ 「クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全」	日本自動車連盟	45
		⑬ 「交通事故とその責任」	日本損害保険協会	9
⑭ 「自転車と交通安全について」	日本損害保険協会	27		
一般系 計				219
全体 合計				243



#### 4. 普及啓発事業

##### 1) 普及啓発活動

###### (1) 広報誌『Traffi-Cation』の発行

高校教諭を対象とする普及啓発活動の一環として、広報誌「Traffi-Cation」を下表の通り3回発行し、全国の高等学校（約5,900校）や定期送付希望の先生方へ提供した。

今年度は、若者のクルマに対する関心の向上や理解促進のために、クルマ・交通に関する話題を中心に記事を作成した。また、特集としてとりあげるだけではなくともクルマ・交通社会の理解促進に役立つ旬なテーマを取り上げるため、「トピックス」（1ページ）コーナーを設け、先生方への情報提供を行なった。

###### 【「Traffi-Cation」発行状況】

番号	発行日	タイトル・内容
No. 36 夏号	26. 6. 15	＊特集 「高校生にとってのモーターショーの意義とは」 ＊トピックス 「未成年でも加害責任を免れない自転車事故!!」 ＊海外交通事情報告 第36回 「香港公共交通の万能カード「オクトパス」」 ＊人、クルマ、そして夢。 第5回 「理想の自動運転技術は支援型」 ＊日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)
No. 37 秋号	26. 9. 15	＊特集 「商業施設を活用したパーク・アンド・ライド」 ＊トピックス 「東京・環状二号線の奇怪な自転車道」 ＊海外交通事情報告 第36回 「イギリス・ケンブリッジのパーク・アンド・バスライド」 ＊人、クルマ、そして夢。 第5回 「会話でつながるスマートモビリティ」 ＊日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)
No. 38 春号	27. 3. 15	＊特集 「自動車教習所と連携したバイクの交通安全教育」 ＊トピックス 「自転車事故に備える保険」 ＊海外交通事情報告 第36回 「ロンドン五輪と自転車政策①」 ＊人、クルマ、そして夢。 第5回 「燃料電池自動車」 ＊日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)



No. 36 夏号



No. 37 秋号



No. 38 春号

## (2) Traffi-Cation の提供先

全国高等学校へのサンプル提供のほか、定期読者の先生方への提供をこれまで毎号送付していたが、サンプル提供は春号のみとし、夏号・秋号についてはFAXにて案内し、効率化と定期読者の増加に務めた。(3月末現在定期読者数 870 人)。

### < 定期読者 >

・ 継続要望者 2,561 部

### < サンプル提供先 >

- |  |         |
|--|---------|
| ① 社会科系研究会参加者に対する直接配布<br>(全国公民科・社会科教育研究会全国大会、他)           | 410 部   |
| ② JAEF 研修会・贈呈式参加者に対する直接配布                                | 492 部   |
| ③ 学校名簿に基づく広域展開 (学校宛配送)<br>(全国約 5,900 校の社会科系および生徒指導担当教諭等) | 5,865 部 |

\* 小計 6,767 部

### < 参考提供先 >

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| ① 県教育委員会                  | 141 部   |
| ② 報道関係者 (ニュースリリース配送先)     | 60 部    |
| ③ 財団関係者 (JAEF REPORT 配送先) | 1,440 部 |

\* 小計 1,641 部

\* 合計 10,696 部

## 2) 広域普及啓発活動

### (1) マスコミ向けの「財団事業計画説明会」の開催

第3回定時評議員会における、平成25年度事業報告並びに平成26年度事業計画の承認を受けて、同会議の翌日(6月14日)日本自動車会館 くるまプラザ会議室において、恒例となった「財団事業計画説明会」を実施した。自動車・損保・教育関係専門紙誌が対象で、参加者はマスコミ6名であった。

### (2) 「ニュースリリース」の発行

前年度に引き続き、報道機関向けのニュースリリース「JAEF NEWS」をタイムリーに発行(年間21回)した。

#### 【「JAEF NEWS」発行状況】

番号	発行日	タイトルと内容
No. 617	26. 6. 13	平成26年度定時評議員会を開催
No. 618	26. 7. 8	「第93回 JAEF研修会」を開催(くるまプラザ)
No. 619	26. 7. 8	「第94回 JAEF研修会」を開催(鈴鹿サーキット)
No. 620	26. 7. 16	「第95回 JAEF研修会」を開催(ツインリンクもてぎ)
No. 621	26. 7. 30	「第96回 JAEF研修会」を開催(CIVI研修センター)
No. 622	26. 8. 1	平成26年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 623	26. 8. 29	「第97回 JAEF研修会」を開催(東京ベイ有明ワシントンホテル)
No. 624	26. 10. 21	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(富山県)
No. 625	26. 10. 21	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(石川県)
No. 626	26. 10. 30	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(福井県)
No. 627	26. 10. 30	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(島根県)
No. 628	26. 10. 30	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(鳥取県)
No. 629	26. 11. 4	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(山口県)
No. 630	26. 11. 4	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(栃木県)
No. 631	26. 11. 4	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(東京都)
No. 632	26. 11. 10	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(神奈川県)
No. 633	26. 11. 10	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(千葉県)
No. 634	26. 11. 10	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(広島県)
No. 635	26. 11. 18	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(岡山県)
No. 636	26. 11. 18	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(埼玉県)
No. 637	26. 12. 19	自動車技術教育用教材の贈呈式を開催(北海道)

(3) 広報媒体（ホームページ、パンフレット、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページとパンフレットは内容をアップデートし、小幅改訂した。ホームページについては、タイムリーな情報発信を心がけ、JAEF 研修会の活動内容や広報誌 Traffic-Cation のバックナンバーの閲覧を可能とするなど、内容の拡充を行なった。ホームページ訪問者数は月平均 3 千人超となっている。



ホームページ トップ画面



財団パンフレット

【ホームページ訪問者数（月平均）】

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6
年 度	1,964	1,931	1,964	2,483	3,263	3,155
上 期	1,862	1,906	1,996	3,326	3,326	3,164
下 期	2,066	2,017	1,932	3,201	3,201	3,145

また、先生向けの財団支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした「JAEF 支援メニュー【平成 26 年度版】」チラシも改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。



#### (4) 「JAEF REPORT」の発行

関係者向けの財団事業報告紙として「JAEF REPORT」（A4判・4頁・カラー）を定期的（4・7・10・1月の年4回）に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、「JAEF REPORT」をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

#### 【「JAEF REPORT」発行状況】

番 号	発行日	タイトル・内容
No. 221	26. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成 26 年度事業計画</li> <li>◆ 平成 25 年度講師派遣:過去最多を記録</li> <li>◆ 平成 26 年度講師派遣募集開始</li> <li>◆ 平成 26 年度自動車教育用教材の公募予定</li> <li>◆ 平成 25 年度自動車教育用教材活用結果</li> <li>◆ 高校生意識調査結果を報告</li> </ul>
No. 222	26. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第 7 回理事会・第 3 回評議員会を開催</li> <li>◆ 平成 26 年度事業計画説明会を開催</li> <li>◆ 平成 26 年度 JAEF 研修会の参加者を募集</li> <li>◆ 38 都道府県の研修会(139 件)に講師を派遣</li> <li>◆ 平成 26 年度自動車技術教育用教材提供へ 87 校から応募</li> </ul>
No. 223	26. 10. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定</li> <li>◆ 第 93～97 回 JAEF 研修会を開催</li> <li>◆ 28 都道府県(51 件)の研修会に講師を派遣</li> <li>◆ 国内交通調査を実施</li> <li>◆ 海外交通事情調査(欧州・北米)を実施</li> </ul>
No. 224	27. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新年のご挨拶</li> <li>◆ 14 都道府県で教材贈呈式を開催</li> <li>◆ 自動車技術教育イベントを支援</li> <li>◆ 26 都道府県(39 件)の研修会に講師を派遣</li> <li>◆ 高校生の二輪車交通安全講習を調査</li> </ul>

## 【IV】 支援活動

### 1. 自動車技術教育関連イベントに対する支援

前年度に引き続き、高校生が参加する全国イベント4件及び県別イベント4件に支援を実施した。なお、その内の5件は、地元の自動車教育推進協議会と連携し合同で支援を行なった。

	イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
					財団	協議会
全国イベント支援	全国ソーラーラジコンカーコンテスト2014in白山	8/1~3	石川	石川県	協賛金	賞状・盾授与
	第18回スターリングテクノロジー	11/8	埼玉	スターリングテクノロジー技術会	協賛名義	
	第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会	11/5~16	東北各県	全国工業高等学校長協会	協賛名義	
	2014エコデンレース全国大会	11/23	大阪	全国自動車教育研究会	協賛金	
県別イベント支援	第19回三重県高校生テクノドリームフェア	8/16	三重	三重県高等学校工業教育研究会	協賛金	協賛金
	2014長野県高校生交通安全CMコンテスト	10/25	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金	協賛金
	第16回沖縄県高等学校エコデンレース大会	10/21	沖縄	沖縄県工業教育研究会	協賛金	協賛金
	第22回静岡県高校生エコラン大会	11/9 11/29	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金

### 2. 研究会及び研究大会に対する支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、3件の支援を実施した。

	支援対象	実施日	支援先	協賛支援内容	
				財団	協議会
研究会支援	「全公社研紀要」への広告掲載	—	全国公民科・社会科教育研究会	協賛広告	
	平成26年度研究会活動費	—	東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会（都倫研）	協賛金	
	「全総会報」への広告掲載	—	全国総合学科高等学校長協会	協賛広告	

## 〔V〕 組織運営

### 1. 理事・監事・評議員の異動

所属団体における異動による一部評議員及び一部理事の退任に伴い、6月12日に開催された第3回定時評議員会において、評議員の一部選任並びに理事の一部選任が行われた。その結果、評議員においては、3名の退任評議員の後任として3名の新評議員が一部選任された。また、理事については、2名の退任理事の後任として新たに2名の理事が一部選任された。

なお、第2回定時評議員会終了後に、所属団体における異動による退任（評議員1名、理事1名）が発生したため、決議の省略による理事会並びに評議員会を開催し、後任の評議員及び理事の一部選任が行われた。

### 2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

### 3. 経理・財務の状況

収入面では、関係団体からのご支援による賛助会費及び寄付金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益等により、計画通りの収入を確保することができた。

一方、支出面においては、事業規模は維持しつつも運営の効率化と費用管理に努め、ほぼ当初計画に沿った支出とすることができた。そのため、収支バランスは当初計画通り、若干の黒字となった。

## 〔VI〕 庶務事項

### 1. 事務局体制

- ・平成 27 年 3 月 31 日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	花田 隆夫	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	上橋 義弘	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
参 事	笈沼 孝雄	研修事業 総務、労務	研修部会 (理事会・評議員会)
部 長	馬場 和幸	技術教育支援事業 (経理)	審査委員会、技術教育部会
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	佐藤江里花	(調査、普及啓発、システム)	(企画委員会、事業委員会) (調査普及部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、総務)	(審査委員会、技術教育部会)

※ ( ) 内は副担当としてのアシスト業務を示す

### 2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・平成 26 年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

< 賛助団体名 >		< 金 額 >
・ (一社) 日本自動車工業会		35,000 千円
・ (一社) 日本損害保険協会		2,400 千円
・ (一社) 日本自動車販売協会連合会		4,800 千円
・ (一社) 日本自動車連盟		1,200 千円
・ (一社) 日本自動車会議所		600 千円
・ (一社) 全国軽自動車協会連合会		1,200 千円
・ (一社) 日本中古自動車販売協会連合会		600 千円
・ (一社) 日本自動車整備振興会連合会		600 千円
合 計		46,400 千円
< 寄附団体名 >		< 金 額 >
・ (一社) 日本自動車機械工具協会		6,000 千円
合 計		6,000 千円

以 上



【資料1】平成26年度講師派遣実績

1. 技術研修会

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)	参加人数
1	東京	全国自動車教育研究会	5/21	モータースポーツの技術と文化	ニッサン・モータースポーツ 柿元 邦彦	40
2	広島	広島市立広島工業高等学校	6/9	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ広島 小滝 克己	36
3	福岡	県立八女工業高等学校	6/12	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業㈱ 正木 博	86
4	滋賀	県立八幡工業高等学校	7/3	ガソリンエンジンの分解・組立	滋賀県自動車整備振興会 小西 俊介	6
5	東京	東京都自動車教育研究会	7/4	マツダ・SKYACTIV エンジンについて	マツダ㈱ 藤原 登/今井 一之/ 佐藤 広	30
6	愛知	名古屋市立工業高等学校	7/9	トヨタ・ハイブリッド車について	名古屋トヨペット 高木 登志正	40
7	福岡	県立香椎工業高等学校	8/19	トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタカローラ福岡 折田 尉孝	70
8	沖縄	県工業教育研究会 自動車部会	8/22	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業㈱ 正木 博	15
9	宮城	県立村田高等学校	9/1	トヨタ・ハイブリッド車について	宮城ホンダ販売㈱ 煙山 優	20
10	奈良	県立朱雀高等学校・定時制	9/8	トヨタ・ハイブリッド車について	奈良トヨタ自動車 谷 慈也	11
11	富山	県高等学校教育研究会工業部会	10/2	マツダ・SKYACTIV エンジンについて	ティティアイ・ジャパン 宮原 正夫	100
12	青森	全国自動車教育研究会	10/17	整備業界の動向と今後の活動	国土交通省 藤本 佳浩	60
13	秋田	県立横手青陵学院高等学校	10/25	トヨタ・ハイブリッド車について	秋田トヨタ 加藤 新	70
14	広島	広島市立広島工業高等学校	11/13	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ広島 小滝 克己	36
15	兵庫	県立武庫之荘総合高等学校	11/17	トヨタ・ハイブリッド車について	神戸トヨペット 宮尾 敏也	89
16	愛知	県立小牧工業高等学校	11/27	トヨタ・ハイブリッド車について	名古屋トヨペット 高木 登志正/ 宮田 久也	10
17	鳥取	県立境港総合技術高等学校	12/8	ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダカーズ鳥取 樋口 賢司	18
18	宮城	県立村田高等学校	12/15	日産・電気自動車について	日産サテリオ宮城 阿部 正喜	21
19	静岡	県立引佐高等学校	1/19	トヨタ・ハイブリッド車について	ネットトヨタ静岡 鈴木 亮也	75
20	東京	都立六郷工科高等学校	1/30	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業㈱ 正木 博	33
21	福岡	県立田川技術高等学校	2/4	トヨタ・ハイブリッド車について	福岡トヨペット 波多 正宏/ 柴田 直樹	24
22	東京	都立墨田工業高等学校	2/6	三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業㈱ 正木 博	80
23	愛知	享栄高等学校	2/8	ガソリンエンジンの分解・組立	愛知県自動車整備振興会 田中 明一	8
24	東京	都立墨田工業高等学校・定時制	2/10	日産・電気自動車について	東京日産自動車 有松 真一	19
	技術系計	—	—	—	—	997

## 2. 一般研修会

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
1	大阪	プール学院中学・高等学校(中学)	4/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野芳久	260
2	大阪	プール学院中学・高等学校(高校)	4/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野芳久	770
3	神奈川	湘南工科大学附属高等学校	4/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	小畑 涼	635
4	京都	府立山城高等学校	4/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・京都支部	池田正直	1,164
5	埼玉	埼玉平成高等学校	4/10	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	290
6	栃木	県立壬生高等学校	4/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村鋭夫	467
7	東京	成城学園高等学校	4/10	交通事故とその責任	日本損害保険協会・南関東支部	河野和亘	41
8	京都	京都市立伏見工業高等学校	4/10	交通事故とその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	211
9	東京	都立片倉高等学校	4/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	320
10	埼玉	県立浦和東高等学校	4/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	1,001
11	福岡	祐誠高等学校	4/14	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	古西朱美	503
12	岐阜	県立大垣北高等学校	4/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	江崎俊哉	964
13	青森	県立七戸高等学校	4/15	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部	中園浩二	452
14	熊本	県立ひのくに高等支援学校	4/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊敬太	139
15	青森	県立青森商業高等学校	4/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園浩二	760
16	埼玉	国際学院中学校・高等学校	4/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	304
17	新潟	県立高田南城高等学校	4/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本信栄	180
18	長野	県立野沢北高等学校	4/17	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子公一	722
19	静岡	県立富士東高等学校	4/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	846
20	福岡	県立早良高等学校	4/18	交通事故とその責任	日本損害保険協会・九州支部	栗山智美	230
21	兵庫	育英高等学校	4/19	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副隆司	341
22	北海道	道立標茶高等学校	4/21	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北海道支部	上木英正	246
23	広島	近畿大学附属広島高等学校・福山校	4/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・広島支部	伊藤 昇	1,080
24	山梨	北杜市立甲陵高等学校	4/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	三枝成己	73
25	群馬	県立下仁田高等学校	4/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	松岡嘉明	173
26	神奈川	横須賀市立横須賀総合高等学校	4/23	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・南関東支部	竹島亜機雄	63
27	北海道	道立札幌清田高等学校	4/23	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北海道支部	上木英正	320
28	北海道	道立士別翔雲高等学校	4/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤博行	475
29	秋田	県立栗田養護学校	4/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	坪池充則	113
30	沖縄	県立本部高等学校	4/23	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	平良 克哉	199

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
31	滋賀	滋賀学園高等学校	4/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	270
32	静岡	聖隷クリストファー中・高等学校	4/24	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	982
33	埼玉	県立八潮高等学校	4/24	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	602
34	三重	県立伊勢工業高等学校	4/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・三重支部	榎森良仁	567
35	岩手	県立宮古工業高等学校	4/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	星 吉夫	277
36	青森	県立青森南高等学校	4/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園浩二	755
37	熊本	県立球磨商業高等学校	4/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊敬太	358
38	三重	県立津西高等学校	4/25	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	360
39	岡山	井原市立高等学校(昼間部)	4/25	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部	清水英男	85
40	岡山	井原市立高等学校(夜間部)	4/25	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部	井元 健	11
41	秋田	県立大館工業高等学校	4/25	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	坪池充則	310
42	北海道	市立士別東高等学校	4/25	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤博行	16
43	栃木	県立石橋高等学校	4/25	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村鋭夫	249
44	静岡	藤枝順心高等学校	4/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	200
45	東京	都立葛飾野高等学校	4/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	新井友也	318
46	北海道	道立月形高等学校	4/28	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山口博之	160
47	佐賀	県立唐津西高等学校	4/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・佐賀支部	山口 徹	650
48	山形	山形市立商業高等学校	4/28	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・東北支部	平島 正	282
49	福島	福島・郡山女子大学附属高等学校	4/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福島支部	堀川正和	400
50	愛知	県立西春高等学校	4/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	1,080
51	新潟	県立五泉高等学校	4/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本信栄	679
52	北海道	道立札幌北高等学校・定時制	4/30	交通事故とその責任	日本損害保険協会・北海道支部	上木英正	231
53	京都	府立洛水高等学校	4/30	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	217
54	静岡	県立富士宮東高等学校	4/30	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	240
55	新潟	県立正徳館高等学校	5/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	藤原 修	160
56	岩手	県立福岡工業高等学校	5/1	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・東北支部	菅野福雄	240
57	静岡	県立榛原高等学校	5/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	264
58	東京	都立拝島高等学校	5/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	816
59	島根	県立江津清和養護学校	5/1	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・島根支部	安井俊久 大目弘之	4
60	群馬	県立太田東高等学校	5/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	松岡嘉明	841

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
61	青森	県立野辺地高等学校	5/1	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園浩二	396
62	北海道	道立上川高等学校	5/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤博行	163
63	大阪	府立伯太高等学校	5/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	川部隆夫	560
64	福岡	県立玄界高等学校	5/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	永松純一	935
65	熊本	県立松橋支援学校	5/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊敬太	82
66	静岡	県立藤枝北高等学校	5/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	210
67	福島	県立いわき養護学校	5/2	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	堀川正和	63
68	長崎	県立諫早高等学校・中学校	5/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・長崎支部	庄島恭博	1,280
69	奈良	県立王寺工業高等学校	5/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・奈良支部	加藤金也	654
70	宮城	県立柴田農林高等学校・川崎校	5/8	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渡辺定則	82
71	大阪	府立登美丘高等学校	5/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	川部隆夫	1,078
72	北海道	道立旭川南高等学校	5/8	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤博行	688
73	岐阜	県立岐阜聾学校	5/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	中村真治	79
74	香川	県立聾学校	5/8	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・香川支部	岩木一晃	21
75	北海道	道立今金高等養護学校	5/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・函館支部	山本洋平	74
76	埼玉	県立庄和高等学校	5/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	619
77	宮城	県立仙台西高等学校	5/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渡辺定則	875
78	東京	成城学園中学校②	5/8	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	55
79	山梨	県立甲府西高等学校	5/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	三枝成己	700
80	岐阜	県立岐阜各務野高等学校	5/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	玉賀通浩	750
81	福井	県立美方高等学校	5/9	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北陸支部	横田龍夫	152
82	宮城	県立柴田農林高等学校	5/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渡辺定則	420
83	山形	県立新庄神室産業高等学校	5/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部	田中光雄	125
84	山形	県立鶴岡工業高等学校	5/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部	田中光雄	83
85	兵庫	姫路市立琴丘高等学校	5/13	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	279
86	青森	県立八戸第二養護学校	5/14	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部	中園浩二	139
87	東京	都立農芸高等学校	5/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	426
88	埼玉	埼玉・武南高等学校	5/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	485
89	岐阜	県立羽島高等学校	5/14	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	玉賀通浩	610
90	福島	県立郡山高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福島支部	堀川正和	875

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
91	岐阜	県立山県高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	中村眞治	425
92	秋田	県立十和田高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	坪池充則	315
93	茨城	県立結城第二高等学校(午前・午後部)	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	240
94	茨城	県立結城第二高等学校(夜間部)	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	57
95	北海道	道立函館西高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・函館支部	山本洋平	500
96	埼玉	県立深谷商業高等学校	5/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	843
97	神奈川	県立瀬谷西高等学校	5/16	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田恭司	699
98	静岡	県立清水南高等学校	5/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	789
99	富山	県立高岡西高等学校	5/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・富山支部	今井光義	355
100	熊本	県立八代東高等学校	5/21	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊敬太	432
101	愛知	県立知立高等学校	5/21	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	吉田英治	1,000
102	三重	県立四日市商業高等学校	5/22	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	280
103	群馬	県立高崎商業高等学校	5/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	松岡嘉明	958
104	大阪	大商学園高等学校	5/23	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	210
105	岡山	玉野市立玉野備南高等学校	5/23	交通事故とその責任	日本損害保険協会・中国支部	難波春晴	41
106	岡山	玉野市立玉野備南高等学校	5/23	交通事故とその責任	日本損害保険協会・中国支部	井元 健	26
107	長崎	県立桜が丘特別支援学校	5/23	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・長崎支部	庄島恭博	62
108	岐阜	県立岐南工業高等学校	5/23	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	中村眞治	816
109	福岡	県立三潞高等学校	5/26	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	永松純一	391
110	福岡	県立大牟田高等学校	5/27	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	永松純一	950
111	群馬	県立吾妻高等学校	5/29	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	松岡嘉明	300
112	北海道	道立小清水高等学校	5/29	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・北見支部	佐々木 純	57
113	兵庫	松陰中学校・高等学校(高等部)	6/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副隆司	559
114	茨城	県立茨城東高等学校	6/3	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	480
115	秋田	県立横手城南高等学校	6/3	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	坪池充則	600
116	神奈川	県立小田原城北工業高等学校	6/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田恭司	750
117	兵庫	松陰中学校・高等学校(中等部)	6/6	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副隆司	426
118	愛知	県立尾西高等学校	6/9	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	大橋義典	480
119	島根	県立松江ろう学校	6/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・島根支部	安井俊久	14
120	茨城	県立鹿島高等学校	6/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	899

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
121	石川	県立金沢錦丘高等学校	6/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・石川支部	北本 大	320
122	北海道	道立清里高等学校	6/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・北見支部	佐々木 純	81
123	埼玉	県立三郷高等学校	6/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	245
124	岡山	県立総社高等学校	6/13	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	820
125	滋賀	県立聾話学校	6/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	22
126	茨城	県立日立第二高等学校	6/16	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	232
127	宮城	県立名取北高等学校	6/17	交通事故とその責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正	877
128	岩手	県立水沢農業高等学校	6/17	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・東北支部	菅野福雄	303
129	新潟	県立長岡農業高等学校	6/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・新潟支部	藤原 修	490
130	愛知	県立国府高等学校	6/18	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	653
131	茨城	県立東海高等学校	6/18	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	500
132	長野	県立上伊那農業高等学校	6/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子公一	530
133	山口	県立西京高等学校	6/24	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部	西村敏彦	720
134	茨城	県立友部東特別支援学校	6/24	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	40
135	埼玉	正智深谷高等学校	6/25	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	永山栄司	1,200
136	東京	中央学院大学中央高等学校	6/25	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	片岡 大	360
137	長野	県立松本県ヶ丘高等学校	7/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子公一	330
138	茨城	県立江戸崎総合高校	7/2	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	600
139	岐阜	中津川市立阿木高等学校	7/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	中村真治	165
140	鹿児島	県立頰娃高等学校	7/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱純洋	108
141	山梨	県立白根高等学校	7/3	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	三枝成己	555
142	沖縄	県立那覇高等学校	7/4	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	筒井啓一郎	1,319
143	熊本	県立熊本西高等学校	7/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	渡邊敬太	1,133
144	沖縄	県立那覇西高等学校	7/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	平良克哉	1,058
145	東京	駿台学園高等学校	7/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	片岡 大	340
146	東京	都立桜町高等学校	7/7	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	807
147	東京	都立小平高等学校	7/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	280
148	神奈川	緑ヶ丘女子中学校・高等学校	7/10	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田恭司	131
149	長野	県立北佐久農業高等学校	7/10	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子公一	351
150	大阪	大商学園高等学校	7/11	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	174

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
151	沖縄	県立首里高等学校	7/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	平良克哉	1,268
152	滋賀	滋賀学園高等学校	7/14	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・滋賀支部	生田 真	140
153	東京	都立石神井高等学校	7/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	中津川乗康	320
154	神奈川	県立座間養護学校	7/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田恭司	94
155	徳島	県立富岡東高等学校・定時制	7/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・徳島支部	真野典浩	34
156	兵庫	県立川西北陵高等学校	7/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副隆司	300
157	長崎	県立五島南高等学校	7/16	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	栗山智美	130
158	千葉	県立沼南高等学校	7/16	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	田中政彦	577
159	沖縄	県立那覇工業高等学校	7/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	平良克哉	800
160	岡山	県立倉敷中央高等学校	7/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	920
161	埼玉	県立鴻巣高等学校	7/17	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	865
162	沖縄	県立宮古高等学校	7/17	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・沖縄支部	前里清光	873
163	茨城	県立土浦第一高等学校	7/17	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	970
164	北海道	星槎国際高等学校・本部校	7/18	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山口博之	23
165	山形	県立山辺高等学校	7/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部	田中光雄	83
166	神奈川	県立瀬谷養護学校	7/28	地球温暖化防止と j 自動車技術	次世代自動車振興センター	荻野法一	50
167	山形	県立山形養護学校	7/30	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山形支部	田中光雄	16
168	宮城	県立東松島高等学校(I・II部)	8/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渡辺定則	150
169	宮城	県立東松島高等学校(III部)	8/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渡辺定則	30
170	静岡	県立静岡視覚特別支援学校	8/27	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	28
171	福岡	県立八女工業高等学校	9/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	前川憲司	783
172	茨城	県立鉾田農業高等学校	9/12	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	80
173	島根	県立松江商業高等学校	9/16	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・中国支部	清水英男	200
174	秋田	県立湯沢高等学校・稲川分校	9/16	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	坪池充則	47
175	山梨	県立日川高等学校	9/17	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部	三枝成己	845
176	埼玉	県立羽生高等学校	9/18	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・北関東支部	森田啓資	240
177	福井	県立福井南特別支援学校	9/22	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福井支部	酒向続久	44
178	佐賀	佐賀清和高等学校	9/22	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	山口 徹	1,204
179	秋田	県立大館鳳鳴高等学校	9/24	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	坪池充則	750
180	宮崎	県立福島高等学校	9/26	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	古西朱美	290

No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
181	富山	富山県高等学校教育研究会工業部会	10/2	地球温暖化防止とj自動車技術	次世代自動車振興センター	荻野法一	230
182	埼玉	県立杉戸農業高等学校	10/3	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	永山栄司	213
183	兵庫	県立三木北高等学校	10/8	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副隆司	630
184	宮崎	県立延岡星雲高等学校	10/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内真一	587
185	岐阜	県立可児高等学校	10/10	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	玉賀通浩	900
186	広島	呉港高等学校	10/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・広島支部	伊藤 昇	648
187	大阪	府立泉陽高等学校	10/20	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	400
188	福岡	大牟田高等学校	10/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	永松純一	421
189	奈良	県立高等養護学校	11/4	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・奈良支部	竹ノ内英介	200
190	栃木	県立小山西高等学校	11/4	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村鋭夫	620
191	鹿児島	出水市立出水商業高等学校	11/7	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	竹ノ内博文	358
192	福岡	公立古賀竟成館高等学校	11/10	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	古西朱美	640
193	茨城	県立玉造工業高等学校	11/12	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	518
194	岐阜	県立大垣南高等学校	11/13	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	玉賀通浩	780
195	北海道	道立栗山高等学校	11/19	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山澤孝雄	90
196	岐阜	県立恵那特別支援学校	11/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	玉賀通浩	16
197	大阪	府立和泉総合高等学校・定時制	11/25	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	山野陽一	110
198	神奈川	横浜市立ろう特別支援学校	11/27	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田恭司	50
199	沖縄	県立向陽高等学校	11/28	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	永松純一	800
200	長崎	県立豊玉高等学校	12/2	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	永松純一	44
201	北海道	道立下川商業高等学校	12/3	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤博行	98
202	和歌山	県立和歌山工業高等学校	12/10	交通事故とその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本武弘	362
203	茨城	県立岩瀬高等学校	12/10	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	岡田義勝	179
204	三重	県立朝明高等学校	12/15	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・三重支部	榎森良仁	780
205	愛媛	県立松山北高等学校中島分校	12/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・愛媛支部	森長将行	50
206	埼玉	春日部共栄高等学校	12/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	善養寺雅人	520
207	静岡	県立気賀高等学校	12/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	山中博史	387
208	千葉	県立成東高等学校	12/19	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	林 研二	960
209	鹿児島	県立南大隅高等学校	12/19	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・九州支部	栗山智美	122
210	兵庫	神戸市立兵庫商業高等学校	12/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	山副隆司	96



No.	都道府県	主催	月日	講演テーマ	講師(敬称略)		参加人数
211	神奈川	全工協エネルギー・環境技術教育研究会	12/26	地球温暖化防止と自動車技術	次世代自動車振興センター	荻野法一	82
212	福島	県立いわき翠の杜高等学校	1/16	クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	堀川正和	41
213	北海道	道立福島商業高等学校	2/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・函館支部	山本洋平	26
214	茨城	県立笠間高等学校	2/24	交通事故とその責任	日本損害保険協会・南関東支部	竹島亜機雄	147
215	大分	県立別府支援学校石垣原校	3/5	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・大分支部	田代芳久	32
216	東京	都立西高等学校	3/11	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・東京支部	板橋利雄	320
217	高知	県立室戸高等学校	3/17	自転車と交通安全について	日本損害保険協会・四国支部	堀本達也	114
218	山口	県立岩国高等学校坂上分校	3/18	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山口支部	田中浩司	61
219	山口	県立萩高等学校	3/20	危険予知による交通安全	日本自動車連盟・山口支部	田中浩司	320
	一般系	—	—	—	—	—	91,728
	技術系計	—	—	—	—	—	997
	総合計	—	—	—	—	—	92,725

【資料2】平成26年度教材贈呈式開催状況

(敬称略)

1) 富山県

日 時/場 所	平成26年11月12日 13:30~15:00/富山県自販会館 (富山市新庄町字馬場18-8)		
出席者	来 賓	富山県教育委員会	指 導 主 事 篠原俊一郎
	学 校 関 係 者	富山県立魚津工業高等学校	校 長 藤岡 栄二
		富山県立滑川高等学校	教 諭 角井 勇人
		富山県立富山工業高等学校	教 頭 清水 秀夫
富山県立高岡工芸高等学校		校 長 澤田 和之	
富山県立高岡工芸高等学校		教 諭 當流谷正博	
協議会 関 係 者	富山県自動車販売店協会	会 長 [県協議会・会長]	黒澤 敏
	富山県自動車整備振興会	専 務 理 事	川上 幸男
	富山県軽自動車協会	会 長	品川祐一郎
	日本自動車連盟 富山支部	専 務 理 事	横山 清司
	富山県自動車販売店協会	事 務 所 長	近藤 郁夫
	日本自動車教育振興財団	専 務 理 事 [県協議会・事務局]	嘉指 博行
マスコミ	日刊自動車新聞社・富山新聞社・北日本新聞社		

2) 石川県

日 時/場 所	平成26年11月13日 13:30~15:00/ホテル日航金沢 (金沢市本町2-15-1)		
出席者	来 賓	石川県教育委員会	副 参 事 塩田 憲司
	学 校 関 係 者	石川県立大聖寺実業高等学校	課 長 補 佐 平木 外二
		石川県立小松工業高等学校	校 長 赤土 悦崇
		石川県立工業高等学校	教 諭 宮前 信彌
		石川県立工業高等学校	教 頭 林 純一郎
		石川県立工業高等学校	教 諭 北川 甚一
		石川県立羽咋工業高等学校	校 長 山田 勝裕
		石川県立七尾東雲高等学校	教 諭 孫田多佳之
		石川県立七尾東雲高等学校	教 諭 下根 浩明
	協議会 関 係 者	石川県自動車販売店協会	副 会 長 [県協議会・副会長]
石川県自動車整備振興会		副 会 長 [県協議会・副会長]	山野 吉彦
石川県軽自動車協会		常 務 理 事	飯田 三郎
日本自動車連盟石川支部		専 務 理 事	坂本 成司
日本損害保険協会北陸支部		事 務 所 長	平塚 弘之
秋田県自動車販売店協会		事 務 局 長	樋川 明則
日本自動車教育振興財団	専 務 理 事 [県協議会・事務局]	小松 龍夫	
マスコミ	日刊自動車新聞・テレビ金沢・北陸放送		

### 3) 福井県

日 時/場 所		平成 26 年 11 月 20 日 13:30～15:00/ブランカ (福井市西谷 1-1201)			
出席者	来 賓	福井県教育庁高校教育課 "	参 事 指 導 主 事	油谷 泉 加藤 龍一	
	学 校 関 係 者	福井県立科学技術高等学校 "	教 頭 教 諭	佐々木克己 西澤 宏一	
		福井県立坂井高等学校 "	校 長 教 諭	大原 陵路 河合 敏樹	
		福井県立春江工業高等学校 "	教 頭 教 諭	笹岡 俊男 清水 賢	
		福井県立奥越明正高等学校 "	校 長 教 諭	武吉 睦 臼井 淹雄	
		福井県立武生高等学校 "	教 頭 教 諭	折井 巧 進士 禎政	
		福井県立敦賀工業高等学校 福井県立若狭東高等学校	教 諭 教 諭	横田 真範 橋本 竜	
		協議会 関 係 者	福井県自動車販売店協会 福井県自動車整備振興会 日本自動車連盟福井支部 "	会 長 副 会 長 支 部 長 事 務 所 長	[県協議会・会長] 多田 伸 貝谷 信雄 西出 秀雄 土島 年康
			日本損害保険協会北陸支部 福井県自動車販売店協会 "	副 長 専 務 理 事 課 長	[県協議会・事務局長] 安部 伸之 酒井 定雄 加藤 勇人
	日本自動車教育振興財団		常 務 理 事	上橋 義弘	
マスコミ	日刊自動車新聞				

### 4) 島根県

日 時/場 所		平成 26 年 11 月 20 日 16:00～17:00/島根県立出雲工業高等学校 (出雲市上塩治町 420)		
出席者	学 校 関 係 者	島根県立出雲工業高等学校 " "	校 長 教 諭 教 諭	伊藤 篤 和田 寛章 岡本 知行
	協議会 関 係 者	島根県自動車販売協会 日本自動車教育振興財団	専 務 理 事 部 長	[県協議会・事務局長] 久保田 茂実 馬場 和幸
	マスコミ	出席無し		

### 5) 鳥取県

日 時/場 所		平成 26 年 11 月 21 日 14:00～15:00/鳥取県立境港総合技術高等学校 (境港 925)			
出席者	来 賓	中国運輸局 鳥取運輸支局	支 局 長	小畠 博文	
	学 校 関 係 者	鳥取県立境港総合技術高等学校 " "	校 長 教 諭 教 諭	安藤 順一 浅田 龍二 吉持 敦 権田	
		協議会 関 係 者	山形県自動車販売店協会 日本自動車教育振興財団	専 務 理 事 部 長	[県協議会・事務局長] 川瀬 芳美 馬場 和幸
		マスコミ	なし		

## 6) 山口県

日 時/場 所		平成 26 年 11 月 26 日 13:30～15:00/翠山荘 (山口市湯田温泉 3-1-1)		
出席者	来賓	中国運輸局山口運輸支局 山口県教育庁高校教育課	支 局 長 教育調整監	今谷 三明 小松 啓二
	学 校 関 係 者	山口県立岩国工業高等学校	校 長	上田 設也
		山口県立柳井商工高等学校	教 諭	山根 啓治
		山口県立田布施農工高等学校	校 長	末廣 栄
山口県立下松工業高等学校		教 諭	田中 秀幸	
山口県立徳山商工高等学校		校 長	山田 洋一	
山口県立南陽工業高等学校		教 諭	上田 晃久	
山口県立防府商工高等学校		校 長	助田 高義	
山口県立美祢青稜高等学校		教 諭	河村 隆	
宇部鴻城高等学校		校 長	井上 育典	
下関国際高等学校		教 諭	鈴木 三郎	
協議会 関 係 者	山口県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	中野 文夫
	山口県自動車整備振興会	専 務 理 事		斉藤 茂
	日本自動車連盟山口支部	事務局長代理		藤田 進
	山口県自動車販売店協会	事 務 所 長	[県協議会・事務局長]	西村 敏彦
		専 務 理 事		小林 繁
		総 務 部 長		松澤 隆
	日本自動車教育振興財団	係 長		勝又 智子
マスコミ	日刊自動車新聞	常 務 理 事		小林 繁 上橋 義弘

## 7) 栃木県

日 時/場 所		平成 26 年 11 月 27 日 14:00～15:30/栃木県自動車会館 (宇都宮市今宮 2-4-6)		
出席者	来賓	栃木県教育委員会事務局学校教育課	課 長 補 佐	稲葉 昌弘
	学 校 関 係 者	栃木県立宇都宮白楊高等学校	学 科 長	小林 幸雄
		栃木県宇都宮工業高等学校	校 長	池守 滋
		栃木県今市工業高等学校	教 諭	小倉 幹宏
栃木県矢板高等学校		校 長	渡辺 勉	
協議会 関 係 者	栃木県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	新井 祥司
	日本自動車連盟栃木支部	事 務 所 長		船田 弘幸
	日本損害保険協会北関東支部	事 務 局 長		野口 治憲
	栃木県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	鈴木 忠明
マスコミ	日刊自動車新聞	部 長		馬場 和幸

## 8) 東京都

日 時/場 所		平成 26 年 11 月 28 日 13:30～15:00/目黒雅叙園 (東京都目黒区下目黒 1-8-1)		
出席者	来 賓	東京都教育庁指導部高等学校教育指導課	統括指導主事	守屋 文俊
	学 校 関 係 者	東京都足立工業高等学校	教 諭	中野 彰祐
		東京都葛西工業高等学校	教 諭	酒井 祐治
		東京都北豊島工業高等学校	教 諭	美濃 哲啓
		東京都蔵前工業高等学校	校 長	加藤 秀次
		〃	教 諭	伊藤 真人
		東京都墨田工業高等学校	校 長	小林 昌代
		〃	教 諭	吉原 秀彦
		東京都墨田工業高等学校 (定時制)	教 諭	太田 一広
		東京都総合工科高等学校	教 諭	木村 壮一
		東京都総合工科高等学校 (定時制)	副 校 長	内田 隆志
		〃	教 諭	小俣 雅史
		東京都立練馬工業高等学校	教 諭	米澤 稔邦
		東京都立町田工業高等学校	教 諭	佐藤 政治
		〃	実 習 助 手	小山 涼
東京都立六郷工科高等学校	副 校 長	桐野 勝利		
〃	教 諭	横内 能成		
大森学園高等学校	校 長	畑澤 正一		
〃	教 諭	齋藤 正英		
日本工業大学駒場高等学校	校 長	池田 博樹		
〃	教 諭	渡辺 勝之		
協議会 関 係 者	東京都自動車販売協会協会	会 長	[県協議会・会長]	永安 省三
	東京都自動車整備振興会	会 長		西村 健二
	〃	専 務 理 事		北田 耕助
	東京都軽自動車協会	会 長		松村 一
	〃	専 務 理 事		中島 章
	日本自動車連盟東京支部	事 務 所 長		中山 高
	東京都自動車販売協会協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	福田 信行
	〃	総 務 部 長		山内 孝志
	〃	業 務 部 長		上野 守一
	〃	総 務 係 長		杉田由美子
日本自動車教育振興財団	専 務 理 事		花田 隆夫	
〃	部 長		馬場 和幸	
〃	担 当		山内しのぶ	
マスコミ	日刊自動車新聞			

## 9) 神奈川県

日 時/場 所		平成 26 年 12 月 1 日 11:00～13:00/ホテル横浜キャメロットジャパン (横浜市西区北幸 1-11-3)			
出席者	来 賓	全国工業高等学校長協会神奈川代表校長 神奈川県立神奈川工業高等学校	校 長	後藤 博史	
	学 校 関 係 者	神奈川県立平塚工科高等学校	校 長	反町 聡之	
		〃	教 諭	小田 修令	
		神奈川県立小田原城北工業高等学校	校 長	真壁 広道	
		神奈川県立神奈川総合産業高等学校	校 長	小林 和幸	
	〃	教 諭		篠原 正樹	
	協議会 関 係 者	神奈川県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	上野 健彦
		神奈川県自動車整備振興会	専 務 理 事		田中 規内
		神奈川県軽自動車協会	専 務 理 事		森田 雅文
		日本自動車連盟神奈川支部	ロ-ド`サ-ビ`ス隊 管 理 主 幹		安藤 幸二
		東京都自動車販売協会協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	山田 徹
		〃	総 務 部 室 長		田中 祥二
		〃	総 務 部 室 員		江本 一臣
		日本自動車教育振興財団	常 務 理 事		上橋 義弘
	〃	部 長		馬場 和幸	
マスコミ	日刊自動車新聞社・交通毎日新聞社				

10) 千葉県

日 時/場 所		平成 26 年 12 月 2 日 13:30～15:00/ホテルポートプラザちば (千葉市中央区千葉港 8-5)		
出席者	学 校 関 係 者	千葉県立京葉工業高等学校 " " 千葉県立千葉工業高等学校 " " 千葉県立下総高等学校 " " 千葉県立茂原樟陽高等学校 " "	校 長 教 諭 校 長 教 諭 校 長 教 諭 校 長 教 諭	關 敏明 蓑 輪 誠 國馬 隆史 高嶋 聡明 小川 輝男 高梨 和美 齋藤 郁夫 時田 恒芳
	協議会 関 係 者	千葉県自動車販売店協会 千葉県自動車整備振興会 日本自動車連盟千葉支部 香川県自動車販売協会 日本自動車教育振興財団	会 長 専 務 理 事 事 務 所 長 専 務 理 事 専 務 理 事	[県協議会・会長] 加藤 勇 市東 勝美 後藤 尚弘 芝入 徳夫 花田 隆夫
	マスコミ	日刊自動車新聞社		

11) 広島県

日 時/場 所		平成 26 年 12 月 3 日 13:30～15:00/ホテル広島ガーデンパレス (広島市東区光町 1-15)		
出席者	来 賓	中国運輸局広島支局 全国工業高等学校長協会広島県代表校長 広島県立広島工業高等学校	支 局 長 校 長	恵良 幸春 和田 照文
	学 校 関 係 者	広島県立福山工業高等学校 広島県立福山工業高等学校 定時制 広島県立神辺高等学校 " " 広島県立戸手高等学校 広島県立戸府中東高等学校 広島市立広島工業高等学校 " " 呉武田学園呉港高等学校 " "	教 諭 教 諭 校 長 教 諭 校 長 校 長 校 長 教 諭 校 長 教 諭	高田 伸司 松浦 和彦 井出 和雄 松脇 日司 藤田 和久 八幡 茂見 荒木 猛 岸田 克彦 福田 薫 橋本 保人
	協議会 関 係 者	広島県自動車販売店協会 広島県自動車整備振興会 広島県軽自動車協会 日本自動車連盟広島支部 広島県自動車販売店協会 " " " " 日本自動車教育振興財団	会 長 専 務 理 事 専 務 理 事 事 務 所 長 専 務 理 事 " " " " 総 務 課 長 参 事	[県協議会・会長] 上野 弘文 水岩田 博 若村 久信 木村 勇 藤原 弘登 平出 伸二 田村 賢二 笈沼 孝雄
マスコミ	日刊自動車新聞社			

12) 岡山県

日 時/場 所	平成 26 年 12 月 9 日 13:30~15:00/岡山全日空ホテル(岡山市北区駅元町 15-1)			
出席者	来 賓	中国運輸局 岡山運輸支局 岡山県教育庁高校教育課職業指導班	支 局 長 指 導 主 事	秦 日出海 佐々木 隆
	学 校 関 係 者	岡山県立岡山工業高等学校	副 校 長	内田 範政
		〃	教 長	元塚 良滋
		岡山県立東岡山工業高等学校	校 長	難波 宏明
〃		教 長	小林 健一	
岡山県立倉敷工業高等学校		教 頭	藤井 利昭	
〃		教 長	古城 正敏	
岡山県立水島工業高等学校		校 長	長尾 隆史	
〃		教 長	一安 俊典	
岡山県立笠岡工業高等学校		校 長	赤木 恭吾	
岡山県立高梁城南高等学校		教 長	黒瀬 治	
岡山県立勝間田高等学校	教 頭	片岡 章彦		
倉敷市立工業高等学校	教 頭	逢坂 親秀		
〃	教 長	牧 颯二郎		
岡山商科大学附属高等学校	校 長	薬師寺 茂		
〃	教 長	松本 一郎		
おかやま山陽高等学校	教 監	山本 茂		
〃	教 諭	森 秀樹		
協議会 関 係 者	岡山県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	山口 洋之
	岡山県自動車整備振興会	会 長		梶谷 俊介
	日本自動車連盟岡山支部	事 務 所 長		真野 卓也
	岡山県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	鳴坂 和夫
〃	総 務 課 長		大森 洋昭	
日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸	
マスクミ	山陽新聞社・日刊自動車新聞社			

13) 埼玉県

日 時/場 所	平成 26 年 12 月 11 日 13:30~14:50/浦和ロイヤルパインズホテル(さいたま市浦和区仲町 2-5-1)			
出席者	来 賓	埼玉県教育局県立学校部高等教育指導課 〃	副 課 長 指 導 主 事	齋藤登志雄 寺田 貢紀
	学 校 関 係 者	埼玉県立川口工業高等学校	校 長	一谷 紀由
		〃	教 長	高梁 道治
		埼玉県立狭山工業高等学校	校 長	市川 孝
		〃	教 長	木村 正之
		埼玉県立大宮工業高等学校	校 長	岩崎 利信
		〃	教 長	小林 浩
		埼玉県立春日部工業高等学校	教 長	鶴飼 和彦
	埼玉県立熊谷工業高等学校	校 長	楡井 勝彦	
	〃	教 長	高村 裕彦	
	埼玉県立三郷工業技術高等学校	校 長	千代田厚史	
	〃	教 諭	鈴木 聡史	
	協議会 関 係 者	埼玉県自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]
埼玉県自動車整備振興会		会 長		岩田 淳
埼玉県自動車販売店協会		副 会 長		橋本宏太郎
〃		副 会 長		吉澤 裕
〃		顧 問		渡辺 伸市
〃		理 事		塩原 良二
埼玉県自動車整備振興会		専 務 理 事		安藤 進二
埼玉県軽自動車協会		会 長		鈴木田賀志
〃		専 務 理 事		鈴木 徹
埼玉県中古自動車販売協会		筆 頭 副 会 長		鷹林 康裕
〃		専 務 理 事		加藤 博司
日本自動車連盟埼玉支部	事 務 所 長		関根 修	
日本損害保険協会北関東支部	事 務 局 長		野口 治憲	
埼玉県自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	山根 博安	
〃	業 務 部 長		吉野 寛	
〃	総 務 部 長		須永 眞史	
〃	総 務 部 係 長		島 貫 一美	
日本自動車教育振興財団	専 務 理 事		花田 隆夫	
〃	部 長		馬場 和幸	
マスクミ	埼玉新聞事業者・埼玉自動車新聞社・日刊自動車新聞社			

14) 北海道

日 時/場 所	平成 27 年 1 月 6 日 9 : 00～10:00/札幌全日空ホテル (札幌市中央区北 3 条西 1-2-9)			
出席者	来 賓	北海道教育庁学校教育局高等教育課	主 査	諸橋 宏明
	学 校 関 係 者	北海道札幌工業高等学校	校 長	池田 尚志
		北海道札幌琴似工業高等学校	校 長	廣瀬 覚
		北海道旭川工業高等学校	校 長	岡本 義則
旭川実業高等学校		校 長	相馬 真吾	
北海道紋別高等学校		校 長	猪俣 康行	
北海道釧路工業高等学校		校 長	石戸谷 亮	
北海道帯広工業高等学校		校 長	福井 誠	
校長会の皆様 13名				
協議会 関 係 者	北海道自動車販売店協会	会 長	[県協議会・会長]	杉本 互
	北海道自動車販売店協会	専 務 理 事	[県協議会・事務局長]	福田 昇
	日本自動車教育振興財団	部 長		馬場 和幸
マスコミ	日刊自動車新聞社			